

第41回 通常総会

～ 2010年度 総合資料 ～



Junior Chamber International Chofu
Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs

索引

～ 2009年度 ～

『感動』の追求！！本気が伝わる行動力
～確立しよう存在感ある新しいJCのかたち～

理事長報告	1
事業報告	3
総会報告	8
理事会報告	9
理事会出席表	12
役員報告	14
委員会報告	16
例会出席表	28
決算報告書	30
監査報告書	37

～ 2010年度 ～

感謝と共に新たな一歩
～個々の『勇気』から得る確かな変化の実感～

理事長所信	38
事業計画	42
役員抱負	47
事業計画表	55
事業計画日程表	56
収支予算書	57
組織図	59
2010年度出向者	60

理事長報告

理事長 梶原 良介

1970年の設立以来、実に39年の歴史を紡いできた（社）調布青年会議所の理事長を務めるにあたり、LOMの縦横両軸を見据えたうえで、今こそ取り組まなくてはならない事は何か？メンバーに求める姿勢とは何か？ということを実験に考え、『感動』の追求！！本気が伝わる行動力～確立しよう存在感ある新しいJCのかたち～というスローガンを掲げて一年間の運動・活動に邁進してきた。重要なのは、レベルの高低ではなく、「主体者となる自分自身が本気かどうか？」を追求し、あらゆる局面においてそれを問い掛けさせていただきました。

「やさしさ・自立・覚悟に裏づけされた人間性の向上と

まちから必要とされるリーダーの育成」

いつの時代も、リーダーという存在があって地域や国が変わってまいりました。特にまち（地域）のリーダー像をイメージするのであれば、一般的なスキルや知識は当然必要であっても、最も重要であるのは多様性や人間力ではないか？どんなに高い知識やスキルを身につけていたとしても、それらを適正に活かすための「健全な考え方」が備わっていないとでは成果を上げることはもとより、人を引き付けることができないのです。

自分とは一体どのような人間か？JCでしか通用しない理屈に捉われていないか？そのような着眼点から開催した例会や、スキルや知識よりも「情熱」に突き動かされる事の重要性について講演いただいた例会を通し、活字では表現できない部分についての気付きをメンバーで共有することができた。一方、JCが「青年会議所」と表記している通り、最低限の会議進行能力を身につける事も重要であり、通年で会議進行能力の向上に関する公開委員会を開催できた事は、入会3年未満のメンバー比率が上がっている当LOMにとって非常に価値の高いものであった。また、合わせて「VMVセミナー」を開催し、青年会議所運動における大目的についても09年度の早い段階で開催でき、メンバーの心の中にある「熱い思いの醸成」を図れたのではないかと考えます。本例会を新入会員自ら企画運営したことも大きな収穫でありました。

今後も、JC特有の知識やスキルを身につけると同時に、情熱的で本気の行動を発揮できる人材を育てる組織であって欲しい！

「やさしさと厳しさを兼ね備えた『家族愛』『地域愛』で

我々の宝（青少年）を育成する」

我々を映す鏡である子どもたちを、いかにして地域で育てるか？家族愛・地域愛といった言葉がどことなく表面的で安っぽく聞こえてしまう時代だからこそ、そんな当たり前の中に着目し、恥ずかしくて言葉ではなかなか言えない「愛」をどの様にして行動で示してゆけるのか？「わんぱく相撲調布場所」においてもその様な視点を踏まえた開催をすることができた。そして、全国でも珍しい国際交流という特色を考え、日本の文化についても触れることができる大会であったことは、次年度の都大会主管にも結びつくでしょう。そして、親子の絆と大人の背中を子どもたちに感じ取ってもらう事を目的に開催した「親子ふれあいものづくり教室」では、調布の特色の一つでもあり、翌年のNHKのドラマにも取り上げられる「ゲゲゲの鬼太郎」を題材にしたものづくりを親子で体験していただいた。青少年健全育成と同時に地域の活性化にもつながる要素を含ませる例会となった。

次年度において、2008年度に開催した「世界がもし100人の村だったら」を題材とした例会を調布JC独自の青少年育成プログラムとして通年で採用することになったが、この様な継続性と拡がりの期待できるプログラムの確立をするために、今後も様々な視点において青少年事業を模索する必要性を感じた。

「『公』への責任を持ち市民＝主人公となる地域の実現」

2008年度に調査研究を進め、その可能性と重要性について検証してきた「市民討議会」を開催まで漕ぎつけることを大きなミッションとして、続・まちづくり委員会の皆さんには多くの困難に立ち向かっていただいた。この経験は、きっと調布JCの将来にとって大きな収穫ではなかっただろうか？まちを語る団体であり、地域に積極的かつ前向きな変化をもたらす事を目的に存在する青年会議所。しかしながらここ数年、市民の皆さま方との直接的な触れ合いや語り合いが不足気味になっていた状況において、市民討議会の開催は大きな気付きや明日への活力となる事は言うまでもありません。また、地域の関係諸団体や消防関係者を多くお招きして開催した「DIG災害図上訓練」では、調布において災害が発生した時の事を予測すると同時に、その地域で活躍する様々な皆様との出会いやコミュニケーションの場となった事は重要な成果であり、一つの青年会議所の存在意義である「人と人とを結びつける」役目を果たせたと考えている。そして、続・まちづくり委員会の公開委員会では、メンバーに「まちについての情報や知識」を習得してもらいたいという観点から「京王線地下化事業の概要とその後の移り変わり」「2013年に開催予定の多摩国体」について勉強していただきました。

その他、本年は年当初より、選挙イヤーとなる事がわかっており、都議選・衆院選に対応するため、選挙区を共有する他LOMとの連携を図りながら年間で2度に渡る「公開討論会」を開催した。その2度とも、調布のメンバーが主導的に活躍し、開催までこぎつけたことは事業の本筋以外の部分においても大きな成果であり、近隣LOMからの信頼を勝ち取る結果となったことは言うまでもありません。

三段跳びに例えるなら「ステップ」の年と捉えた本年、市民・行政・各種団体の皆様との出会いと関わりを深めることができた。即ち調布JCの信頼感と説得力を増してゆく事業を開催してゆくために行動した一年であったと言えるでしょう。

～地域ネットワーク・地域特性を最大限生かし

我々が活力ある地域産業経済の活力となる～

2008年度に復活を遂げた商工会青年部との合同事業である「調布青年経済人会議」を2009年度も継続をし、我々自身がこのまちの経済活性化に対する起爆剤となることを念頭に置きながら開催した。「現在でも有名な調布の名産以外にも、調布らしいお土産や贈答品が眠ってはいないか？」そしてそれらを「市内の皆さんに知ってもらい活用していただくためのPRをしていこう！」という切り口で事業を行うことができた。事前準備から多くのアンケート調査や各所関係各位への協力依頼などに努力した甲斐もあり、内輪だけで終わらず大きな拡がりを持たせる結果となった。行政のウェブサイトにもこの結果（調布のお土産代表）が掲載されるなど、その他、地域メディアにおいても取り上げられるなど注目度も増すこととなった。また、東京ブロック協議会の褒賞にもエントリーし、2009年度のグランプリを獲得することができ、この事を調布JCメンバーのみならず商工会青年部メンバーとも分かち合えたことは非常に嬉しい事であった。そして、毎年シニアクラブの皆様と合同で開催している納涼懇談会では、ただの懇談ではなく京王閣において開催することを通じて、このまちに存在し、市の財産でもあり経済的にも影響のある施設の仕組みや現状について知っていただきながら、より有効的な活用方法等についても考えるきっかけづくりができた。一方では、「調布JCの存在自体が地域に元気と活力を与える団体であって欲しい！」合わせて「会員拡大のツール」としても活用できる様なPR媒体の作成にも取り組んだ。当初5万円の予算を計上していたが、ウェブサイト上に掲載しそれをダウンロードして活用をしていく手法を提案いただいたことで当初の予算を使用せずミッションを達成できたことは大変嬉しいことであった。

引き続き、青年経済人としてこのまちの中で活躍してゆく以上、自身の足元を見つめることは当然の責務であります。しかし、それだけで終わることなく自身の企業経営やスキルが常に地域の活性化に結び付いてゆくことの重要性についても追及して欲しいと考える。2010年度においても青年経済人会議は継続され、更に「起爆剤」としての爆発力を増した事業を検討してゆく予定です。自分と仕事・自分と地域、そして、仕事と地域が結びつきを強め、このまちを強く元気にしてまいります。

～40周年以降の調布JCが光り輝くためのビジョンの策定と

公益法人制度改革への対応～

「第38代でもない、第40代でもない、『第39代』にしかできない重要な任務とは何か？」この事が所信をしたためるにおいて一番考え抜いたテーマでした。その結果導き出したのが40周年以降の調布JCのビジョンの策定でありました。しかし、ビジョンを策定するだけで終始してしまったのであれば、それは片手間の仕事であって、もう一方で重要となるのは「策定したビジョンを実践し得る組織力の構築」であります。私の言う組織力とは、会員数と情熱であります。つまり、「会員拡大」と「情熱的で輝くメンバーの育成」であります。

ビジョンの策定については、一握りのメンバーで完成まで持っていくのではなく、本年度入会した新人も含めた全会員の生の声を聞くプロセスを全5工程の中の2工程に織り込むことで、全メンバーが「ビジョンの策定に関わった」という実感と責任を持たせることについてもこだわった。公益法人制度改革に対応するための方向性の提示については、当年まで二年間の蓄積した知識を踏まえ更に具体的な調査を進めました。そして一つの方向性や行程表を示すべく会議を重ねて参りました。政権交代による対応の変化や、調布JC40周年による決算数字の変化を踏まえ、もう少し慎重な方針・方向性を示してゆきたいという観点から、引き続き最終の煮詰めを行う必要性を感じる。2009年度は、何といたっても28名の会員拡大を達成した年であり、拡大戦略性部門において（社）日本青年会議所の褒賞を受賞することができました。

内部充実を図りながら外部との関わりを深め、（社）調布青年会議所の組織やそこに属する個人の説得力を増しながらこの一年間を締めくくることができた。これは、まさに組織を彩る縦糸と横糸がより強固に結びつくと同時に、一本一本がより太く成長したことで得られた結果に他ならないと感じている。一年間メンバー全員が、自分自身の「本気！」を高めながら、常に成果より「感動！」を追い求めてくれた事に深く感謝申し上げ、2009年度の報告といたします。ありがとうございました。

事業報告

I. 事業

1. 地域社会等の文化の向上と住みよいまちづくりに関する事業 【定款第5条第1項第1号事業】

(1) 新春地域懇談会の開催／主催事業 長期ビジョン策定委員会

事業名称 2009年度社団法人調布青年会議所1月例会
2009年度社団法人調布青年会議所並びに同シニアクラブ合同新春地域懇談会
開催日時 2009年1月22日(木) 18時30分から21時00分
開催場所 調布市文化会館「たづくり」12階大会議場
参加者 252名(来賓51名、来訪JC87名、賛助会員2名、特別会員48名、オブザーバー13名、メンバー51名)
事業内容 新年度のスタートにあたり、日頃より(社)調布青年会議所の運動に対し、ご理解・ご協力を頂いている地域諸団体や行政関係の皆様並びに市民の方々に、2009年度(社)調布青年会議所の基本方針を披露し、本年度も引き続き私たちの運動に対してご理解・ご協力を頂けるよう新春地域懇談会をメンバー丸となって開催致しました。

(2) 災害に強いまち・意識向上の実現に向けた事業の開催／主催事業 会員開発交流委員会

事業名称 2009年度社団法人調布青年会議所9月第1例会
開催日時 2009年9月9日(水) 19時30分から21時15分
開催場所 調布市文化会館「たづくり」12階大会議場
参加者 調布JCメンバー、シニアクラブ、オブザーバー 123名
事業内容 災害について考えることにより、まずは地域を考え、そこにすむ人々を考えることにより我々もそこに住む一市民であることを再認識する。そして市民へ災害に対する意識向上を呼びかけるためには、日頃から我々JCメンバーが災害に対する高い意識を持つことの大切さ、必要性を感じ自らが率先し行動を起こし勉強をしていくことにより、本例会を通じて災害に強いまちとなるよう情報を発信し地域、市民、様々なネットワークに波及していくことを目的と考え事業を行いました。

(3) 市民力・市民意識向上に関する事業の実施／実施事業 続・まちづくり委員会

事業名称 2009年度社団法人調布青年会議所11月例会
ちょうふ市民討議会2009～市民の声でまちをかえよう!ちょうふT^トO^ー9～
開催日時 2009年11月7日(土) 13時00分～16時45分
2009年11月8日(日) 10時00分～17時30分
開催場所 調布市市民プラザ あくろす
3階男女共同参画推進センター内 ホール1+2(大会議場)
参加者 104名
事業内容 3月に調布市と共催するため、我々は「市民の意識改革」と市は「市民からの意識抽出の新たな手法の試み」という趣旨の基、パートナーシップ協定を締結し、5月に公募市民を加え三者協働の実行委員会を組織。実行委員会にて定めたテーマを基に無作為で1500人から応募した参加者40名(実際は29名)でプレスト・KJ法を用い意見を抽出し、当事業の概要と検証したものを「報告書」として市長に提出致します。

(4) 福祉まつりへの参画／参画事業 青少年育成委員会

事業名称 第32回調布市福祉まつり
開催日時 2009年12月6日(日)
開催場所 調布市役所 中庭
参加者 社団法人調布青年会議所メンバー9名 来場者 5000名(調布市社会福祉協議会調べ)
事業内容 売り上げを寄付するという目的で今年度も福祉まつりに参加した。調布青年会議所らしくわんぱく相撲で振舞うちゃんこ鍋を販売した。福祉まつりも販売方法など運営自体に過渡期を迎えている。新しい発想で、ちゃんこ鍋にカレー粉をトッピングすることを提案した。1杯300円の価格で販売したところ売れず、100円に値下げし、完売した。寄付金は17790円。目標額の6万円には届かない額になってしまった。

(5) 「あすの調布」の発行／主催事業 総務啓発委員会

発行月 1月、3月、5月、9月、12月

配布先 メンバー、シニアクラブ、賛助会員、

事業内容 年当初、「想いを共有している仲間に対し、紙媒体として、まちづくりを担う団体である青年会議所運を発信する」という、目的掲げました。新入会員の紹介やOB・現役メンバーのインタビューを通して、面識のない方や交流の少ない方に対して、個人の人となりなどを伝える事ができましたが、青年会議所運動を発信するという面（事業報告）からは通年通り担当委員会に文面をいただく形となりました。対内誌だからできる、形式的な文面ではなく、もう少し事業に関してどのような思いで作りあげたのか成功点や反省点などメンバーに伝える事が出来たのではないかと。

(6) ホームページの運営／主催事業 総務啓発委員会

開催日時 2009年度通年

事業内容 2008年より準備されてきた、XOOPSのシステムで2009年度より調布JCのWEBサイトが一新されました。メンバー各自が自ら更新でき想いをWEBサイトを通じて発信することができるようになり、その操作などの補佐を行ってまいりました。さらに一般の方が参加する事業については告知・募集もおこないました。

(7) わがまち調布に関する調査・研究・発信／主催事業 続・まちづくり委員会

開催日時 2009年度通年 公開委員会開催 2009年8月28日(金) 19時30分～21時14分

開催場所 公開委員会：調布市文化会館たづくり 10階 1002会議室

参加者 29名

事業内容 調布市役所 まちづくり推進課 都市整備部による「調布駅付近連続立体交差事業」における進捗状況の説明とそれに伴う「中心市街地に関わる緒計画と諸運動」および2013年開催する「東京国体」についての報告を資料およびパワーポイントを使いながら説明致しました。

(8) 他団体事業への参画・協力／参画・参加事業 専務理事

事業名称 ①「東京都議会議員選挙公開討論会」 2009年6月20日(土) 14時30分～16時

②「衆議院議員選挙公開討論会」 2009年8月10日(月) 19時～21時

③「自然に触れあい感じる」 2009年8月23日(日)～24日(月)

開催場所 ①② 調布市文化会館「たづくり」12階大会議場

③ 祇園寺周辺地域

事業内容 ①② 市民一人一人が自分たちの「まち」を意識し責任を持つ健全な民主政治を地域に根付かせることを目的に東京都議会議員選挙並びに衆議院議員選挙の立候補予定者を集め公開討論会を実施した。なお、公開討論会の公平・中立性を担保するために、同一選挙区内他団体との実行委員会組織にて実施し、本青年会議所は予算執行を行った。

③ 08年度に開催した柏野地域での青少年健全育成事業を地域に移管することを目的に、本年度は地域の方々による外部実行委員会が立ち上がり、本青年会議所としては予算執行という形でその運営に協力をした。

2. 産業経済に関する調査・研究及び振興に資する事業 【定款第5条第1項第2号事業】

(1) 地域産業経済の活性化に関する事業の実施／主催事業 続・まちづくり委員会

事業名称 2009年度社団法人調布青年会議所3月第1例会

調布青年経済人会議2009～語ろう！地元のお土産 in chofu～

開催日時 2009年3月25日(水) 19時30分～21時30分

開催場所 国立大学法人電気通信大学 電気通信大学創立80周年記念会館(通称：リサーチ)
3Fフロンティア会場

参加者 66名

事業内容 本事業は調布市商工会青年部との合同事業であり、昨年のまちで考えた観光資源という主格を基に調布のお土産を取り上げました。内容は両団体より調布のお土産情報を集め、その中より実行委員会で10個選出したものを例会当日、参加者に実際手にして頂、投票。10個選出したものはポスターやチラシにし、またホームページよりアピール致しました。尚、当事業はブロックの最優秀アワードを獲得。

(2) 納涼懇談会の開催／主催事業 総務啓発委員会

事業名称 2009年度社団法人調布青年会議所7月例会
2009年度社団法人調布青年会議所並びに同シニアクラブ合同納涼例会
開催日時 2009年7月24日(火) 18時30分から21時15分
開催場所 東京オーヴァル京王閣
参加者 調布JCメンバー(59名)、シニアクラブ(33名)、オブザーバー(5名)
事業内容 本年度の納涼例会は、例年通り現役とシニアメンバーとの交流を目的としました。事業予算が産業経済事業費ということで、まず例会会場選定にあたり、調布市内で開催することを考え、今までに使用したことがない京王閣を選定した。京王閣使用にあたり、シニアクラブ荻本先輩より株式会社京王閣 小野副社長と折衝していただき、使用承諾いただくことができた。干支で分けて席を決めたので、年代を超え面識のないシニアの先輩方と同席したことによって、さまざまな視点から調布の産業経済を活性化について語り合うことができた。

(3) 調布JCのPR媒体の作成／主催事業 総務啓発委員会

事業名称 調布JCのPR媒体の作成
開催日時 2009年度通年
対象者 正会員、特別会員、賛助会員、一般、オブザーバー(調布JC WEBサイトに公開)
事業内容 メンバー全員の顔写真や業種を掲載することにより、会員拡大の一助となるべくPR媒体を作成した。また、WEB上で公開することにより、費用をかけることなく、更新することが可能で常にフレッシュな情報を公開することができる。

3. 地域社会における青少年健全育成等の社会奉仕事業 【定款第5条第1項第3号事業】

(1) わんぱく相撲調布場所の実施／主催事業 青少年育成委員会

事業名称 2009年度社団法人調布青年会議所5月例会 第23回わんぱく相撲調布場所の開催
開催日時 2009年5月17日(日) 7時30分~16時
開催場所 調布市立第一小学校
参加者 263名
事業内容 家族と地域をテーマに取り組んだ。実行委員長はわんぱく相撲を熟知した川部秀彦君。コンパクトな開催が可能かどうかの検証もあり、会場は布多天神社に決定。アトラクションは高橋祐二君の協力でフェンシングの模擬大会を実施。地域の食材を使用したちゃんこ鍋も参加者に振舞った。前日の空模様から会場を雨天の場合に変更。雨天にもかかわらず、参加者の当日キャンセルは10%程度にとどまった。

(2) 青少年健全育成に関する事業の開催／主催事業 青少年育成委員会

事業名称 2009年度社団法人調布青年会議所10月第1例会 親子ふれあいものづくり教室
開催日時 2009年10月31日(土) 9時30分~15時
開催場所 調布市立第一小学校
参加者 270名
事業内容 親子で参加できる事業を企画した。「ゲゲゲの鬼太郎」のキャラクターを作成することから、募集開始の翌日には定員オーバーという反響だった。1日で5つのアトラクションを組む内容は緻密な段取りと、メンバーの協力なしではなし得なかった。前例のない企画は審議も紛糾する。しかし当事者ならではの達成感も十分に味わえる。「誰のために、何をするか」の事業の骨格がふれなければ充実した例会になる。

4. 指導力及び運営能力の研究と実践を目的とする事業 【定款第5条第1項第4号事業】

(1) まちづくりにおけるリーダーシップ向上に関する事業の開催／主催事業 人・指導力委員会

事業名称 2009年度社団法人調布青年会議所4月例会

a leader in society ～あなたがリーダーに生まれ変わる日～

開催日時 2009年4月21日(火) 19時30分～21時20分

開催場所 調布市民プラザあくろす2階はばたき

参加者 100名(メンバー47名、一般40名、OB4名、オブザーバー9名)

事業内容 名刺や肩書などに左右されずリーダーシップがとれるのか、リーダーの資質とは何かを考える事により今後の人生に役立ってほしいと思い例会を開催いたしました。とはいっても、メンバーだけではなかなか議論が発展しないと思い、一般参加者の動員をいたしました。会議方法も「ワールドカフェ方式」という新しい会議方式を採用しました。

これは『カフェ』のような空間でお茶や菓子を食べながらリラックスして意見交換をするのが特徴です。3月に行われました青年経済人会議で推薦された「調布のお土産」のお菓子を出させて頂きました。

(2) 会員研修プログラム事業の開催／主催事業 会員開発交流委員会

事業名称 2009年度社団法人調布青年会議所6月例会

～感動の研修！本気が伝わる一泊研修、確立しよう、まちから必要とされるリーダー達の結束～

開催日時 2009年6月21日(日) 13時00分から21時00分

開催場所 山梨県笛吹市石和町川中島192 ホテルふじ

参加者 調布JCメンバー(51名)、シニアクラブ(10名)、オブザーバー(1名)、来訪JC(2名)

事業内容 入会3年未満の会員を対処とした研修会を3部構成で行いました。

1部、新入会員さんが中心に例会ができるまでの流れを映像にし自らがJCを勉強し、

2部、小野田講師をお招きしてのVMV研修会の開催しJCの用語や役割を勉強し目的意識を高める研修を行いました。

3部、シニアクラブ先輩方をお招きして飲食をともなうかたちで居酒屋道場行い、昔のJC話や、今後の我々に期待されること等をお話させていただきました。

(3) 経営資質向上に関する事業の開催／主催事業 人・心指導力委員会

事業名称 2009年度社団法人調布青年会議所10月第1例会 経営者として、人として、何が必要か？

開催日時 2009年10月20日(火) 19時00分～21時00分

開催場所 調布市グリーンホール小ホール

参加者 220名(メンバー57名、一般145名、OB12名、オブザーバー4名、来訪JC2名)

事業内容 講師に銀座ふたご屋ママ「ますい志保」さんをお招きして講演をして頂きました。当日はグリーンホール小ホールに用意した椅子がほぼうまりました。あらためて、講師であるますいさんの知名度と人気を再認識いたしました。委員会としても、各調布市内の商店会、関係諸団体をまわったり、駅前ではピラ配りをしたりと積極的に動員をした結果ではないかと思えます。

(4) 卒業例会の開催／主催事業 会員開発交流委員会

事業名称 2009年度(社)調布青年会議所12月第2例会

第一部「卒業式～感動の継承～」、第二部「納会～本気の伝わる納会～」

開催日時 2009年12月13日(日) 14時00分から19時15分開催場所

参加人数 調布JCメンバー・シニアクラブ・オブザーバー含む 74名

事業内容 部では6名の卒業式を行い、2部では納会を行いました。本例会より卒業文集から、映像などをDVD化することによりデータで管理できる新しいカタチを試みました。

(5) 会議進行能力向上に関する調査・研究・発信／主催事業 人・心指導力委員会

事業名称 会議進行能力向上に関する調査・研究・発信

開催日時 2009年度通年 公開委員会開催は2回

開催場所 (社)調布青年会議所事務局2階(公開委員会開催場所)

事業内容 年初より各委員会を回らせて頂き現状の会議進行能力を調査し、2回の公開委員会を通して会議のテクニカルな部分よりも会議に望む姿勢やモチベーションを伝えさせて頂きました。

5. 前号に掲げるもののほか本会議所の目的を達成するために必要な事業【定款第5条第1項第5号事業】

(1) 中長期的なLOMビジョンの策定と提言／主催事業 長期ビジョン策定委員会

事業名称 2009年度社団法人調布青年会議所8月例会 中長期的なLOMビジョンの策定と提言

開催日時 2009年8月26日(水) 19:30~21:30 他通年事業

開催場所 国立大学法人 電気通信大学 リサーチユ他

事業内容 8月例会では『調布JCの現状』を9月臨時総会においては『調布JCの理想像』を4つの事業の柱ごとにKJ法、ブレストを用い考えていただきました。そして現状分析、理想像を元にかに提言につなげていくかを10月に行ないました公開委員会で意見をいただき、4つの事業ごとにそれぞれ深く関わってきたメンバーを中心に提言につなげる為の最終ディスカッションを行ない「対外向けのリーフレット」と「対内向けの冊子」にまとめました。

(2) 公益法人制度改革の対応に関する調査・研究・発信／主催事業 長期ビジョン策定委員会

事業名称 公益法人制度改革の対応に関する調査・研究・発信

開催日時 2009年6月24日(水) 19:30~21:00 他通年事業

開催場所 調布市文化会館たづくり 8階 映像シアター他

事業内容 6月の公開委員会では公益制度改革について劇という形で表現し、スライドも活用しながら、なぜ公益制度改革を行うのかわかりやすく説明しました。メンバーがどう感じているかアンケートを取り、アンケート結果や他LOMの状況等を踏まえ、正副で検討後、理事長、委員会担当専務、直前理事長、委員会メンバーで話し合い、公益社団の取得を理事長ならびに委員長が次年度正副に提言することに決定しました。

II. その他

総会運営／ ※総会報告を参照

理事会運営の補佐／ ※理事会報告を参照

総 会 報 告

第39回通常総会（2月例会）

1. 召集年月日 平成21年2月10日
2. 開催年月日 平成21年2月17日
3. 開催場所 調布市民プラザあくろす 3階 あくろすホール
4. 正会員数 48名
5. 出席正会員数 46名（本人出席35名 委任状出席11名）
6. 議事 議長選出の件 片桐 道祐 君
定足数の確認
議事録署名人の選任 渡邊 弘樹 君 後藤 文誉 君

第一号議案 2008年度（社）調布青年会議所 事業報告承認に関する件

第二号議案 2008年度（社）調布青年会議所 決算報告承認に関する件

以上全議案可決承認

臨時総会（3月第1例会）

1. 召集年月日 平成21年3月18日
2. 開催年月日 平成21年3月25日
3. 開催場所 国立大学法人 電気通信大学創立80周年記念会館リサーチ3階
4. 正会員数 60名
5. 出席正会員数 47名（本人出席41名 委任状出席6名）
6. 議事 議長選出の件 片桐 道祐 君
定足数の確認
議事録署名人の選任 堀 善一 君 安藤 貴弘 君

第一号議案 2009年度（社）調布青年会議所 補正予算（案）承認に関する件

以上全議案可決承認

臨時総会（9月第2例会）

1. 召集年月日 平成21年9月8日
2. 開催年月日 平成21年9月25日
3. 開催場所 調布市民プラザあくろす 3階 あくろすホール
4. 正会員数 75名
5. 出席正会員数 63名（本人出席46名 委任状出席17名）
6. 議事 議長選出の件 高坂 英樹 君
定足数の確認
議事録署名人の選任 後藤 文誉 君 川端 宏志 君

第一号議案 2009年度（社）調布青年会議所 事業計画（変更）（案）承認に関する件

第一号議案 2010年度（社）調布青年会議所 理事長選挙当選者承認に関する件

第三号議案 2010年度（社）調布青年会議所 役員予定者承認に関する件

以上全議案可決承認

第40回総会（12月第1例会）

1. 召集年月日 平成21年11月26日
2. 開催年月日 平成21年12月4日
3. 開催場所 調布市文化会館たづくり 8階 映像シアター
4. 正会員数 75名
5. 出席正会員数 66名（本人出席42名 委任状出席24名）
6. 議事 議長選出の件 川部 秀彦 君
定足数の確認
議事録署名人の選任 後藤 文誉 君 加藤 雄一 君

第一号議案 2010年度（社）調布青年会議所 理事長承認に関する件

第二号議案 2010年度（社）調布青年会議所 役員承認に関する件

第三号議案 2010年度（社）調布青年会議所 事業計画（案）承認に関する件

第四号議案 2010年度（社）調布青年会議所 収支予算（案）承認に関する件

第五号議案 2010年度（社）調布青年会議所 組織図〔案〕承認に関する件

以上全議案可決承認

理事会報告

- 第1回理事会 日 時：平成20年11月20日(木) 20:00~22:00
会 場：社団法人調布青年会議所 事務局2階
審議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 事業計画(案)承認に関する件(可決)
②2009年度社団法人調布青年会議所 収支予算(案)承認に関する件(可決)
③2009年度社団法人調布青年会議所 組織図(案)承認に関する件(可決)
④2009年度社団法人調布青年会議所 1月例会「日時」「場所」承認に関する件(可決)
協議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 1月例会について
- 第2回理事会 日 時：平成20年12月19日(金) 20:00~22:00
会 場：社団法人調布青年会議所 事務局2階
審議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 正会員入会に関する件(可決)
②2009年度社団法人調布青年会議所ホームページ運営に伴う予算執行に関する件(可決)
③2009年度社団法人調布青年会議所「あすの調布」の発行に伴う予算執行に関する件(可決)
④2009年度社団法人調布青年会議所 わがまち調布に関する調査・研究・発信に伴う予算執行に関する件(可決)
⑤2009年度社団法人調布青年会議所 各クラブ名義使用に関する件(可決)
⑥2009年度社団法人調布青年会議所 1月例会に関する件(可決)
協議事項：①2008年度社団法人調布青年会議所 3月例会について
- 第3回理事会 日 時：平成21年1月29日(木) 20:00~22:15
会 場：社団法人調布青年会議所 事務局2階
審議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 正会員休会に関する件(可決)
②2009年度社団法人調布青年会議所 正会員入会に関する件(可決)
③2008年度社団法人調布青年会議所 事業報告承認に関する件(可決)
④2008年度社団法人調布青年会議所 決算報告承認に関する件(可決)
⑤2009年度社団法人調布青年会議所 補正予算案承認に関する件(可決)
⑥2009年度社団法人調布青年会議所 2月例会に関する件(可決)
⑦2009年度社団法人調布青年会議所 会議進行能力向上に関する調査・研究・発信に伴う予算執行に関する件(可決)
協議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 3月例会について
②2009年度社団法人調布青年会議所 4月例会について
- 第4回理事会 日 時：平成21年2月26日(木) 20:00~22:15
会 場：社団法人調布青年会議所 事務局2階
審議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 3月第一例会に関する件(可決)
②2009年度社団法人調布青年会議所 3月第二例会に関する件(可決)
③2009年度社団法人調布青年会議所 正会員入会に関する件(可決)
協議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 4月例会について
②2008年度社団法人調布青年会議所 5月例会について
③2008年度社団法人調布青年会議所 6月例会について
- 第5回理事会 日 時：平成21年3月26日(木) 20:00~22:20
会 場：社団法人調布青年会議所 事務局2階
審議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 4月例会に関する件(可決)
②2009年度社団法人調布青年会議所 市民力・市民意識向上に関する事業実施に伴う実行委員会設置並びに予算執行に関する件(可決)
③2009年度社団法人調布青年会議所 正会員入会に関する件(可決)
協議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 5月例会について
②2009年度社団法人調布青年会議所 6月例会について

第6回理事会 日 時：平成21年4月23日(木) 20:00~22:20
会 場：社団法人調布青年会議所 事務局2階
審議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 5月例会に関する件(可決)
②2009年度社団法人調布青年会議所 6月例会に関する件(可決)
③2009年度社団法人調布青年会議所 正会員入会に関する件(可決)
④2009年度社団法人調布青年会議所 正会員休会に関する件(可決)
⑤2009年度社団法人調布青年会議所 他団体事業への参画・協力の伴う実行委員会設置並びに予算執行に関する件(可決)
⑥2009年度社団法人調布青年会議所 後援名義受託に関する件(可決)
協議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 公益法人制度改革の対応に関する調査・研究・発信について
②2009年度社団法人調布青年会議所 7月例会について

第7回理事会 日 時：平成21年5月28日(木) 20:00~22:00
会 場：社団法人調布青年会議所 事務局2階
審議事項：②2009年度社団法人調布青年会議所 公益法人制度改革の対応に関する調査・研究・発信に関する件(可決)
②2009年度社団法人調布青年会議所 正会員入会に関する件(可決)
協議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 7月例会について
②2009年度社団法人調布青年会議所 8月例会について
③2009年度社団法人調布青年会議所 9月第二例会について

第8回理事会 日 時：平成21年6月25日(木) 20:00~22:00
会 場：社団法人調布青年会議所 事務局2階
審議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 7月例会に関する件(可決)
②2008年度社団法人調布青年会議所 理事長選挙管理委員会設置に関する件(可決)
③2009年度社団法人調布青年会議所 他団体事業への参画・協力の伴う予算執行に関する件(可決)
④2009年度社団法人調布青年会議所 正会員入会に関する件(可決)
協議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 8月例会について
②2009年度社団法人調布青年会議所 9月第二例会について

第9回理事会 日 時：平成21年7月23日(木) 20:00~22:20
会 場：社団法人調布青年会議所 事務局2階
審議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 理事長選挙当選者承認に関する件(可決)
②2009年度社団法人調布青年会議所 8月例会に関する件(可決)
③2009年度社団法人調布青年会議所 9月第一例会に関する件(可決)
協議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 10月第一例会について
②2009年度社団法人調布青年会議所 10月第二例会について

臨時理事会 日 時：平成21年8月5日(水) 20:00~22:00
会 場：社団法人調布青年会議所 事務局2階
審議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 正会員入会に関する件(可決)

第10回理事会 日 時：平成21年8月27日(木) 20:00~22:35
会 場：社団法人調布青年会議所 事務局2階
審議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 正会員休会復帰に関する件(可決)
②2009年度社団法人調布青年会議所 事業計画(変更案)承認に関する件(可決)
③2010年度社団法人調布青年会議所 役員予定者承認に関する(可決)
④2009年度社団法人調布青年会議所 正会員入会に関する件(可決)
⑤2009年度社団法人調布青年会議所 9月第二例会に関する件(可決)
⑥2009年度社団法人調布青年会議所 6月例会決算報告承認に関する件(可決)
⑦2009年度社団法人調布青年会議所 10月第一例会に関する件(可決)
協議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 10月第二例会について
②2009年度社団法人調布青年会議所 12月第二例会について

- 第11回理事会 日 時：平成21年9月24日（木）20：00～22：00
会 場：社団法人調布青年会議所 事務局2階
審議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 10月第二例会に関する件（可決）
②2009年度社団法人調布青年会議所 11月例会に関する件（可決）
③2009年度社団法人調布青年会議所 正会員入会に関する件（可決）
協議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 12月第二例会について
- 第12回理事会 日 時：平成21年10月22日（木）20：00～22：00
会 場：社団法人調布青年会議所 事務局2階
審議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 褒賞委員会設置に関する件（可決）
②2009年度社団法人調布青年会議所 12月第二例会に関する件（可決）
③2009年度社団法人調布青年会議所 正会員入会に関する件（可決）
協議事項：なし
- 第13回理事会 日 時：平成21年11月26日（木）20：00～22：00
会 場：社団法人調布青年会議所 事務局2階
審議事項：①2009年度社団法人調布青年会議所 わがまち調布に関する調査・研究・発信に伴う決算
報告承認に関する件（可決）
②2009年度社団法人調布青年会議所 他団体事業への参画・協力に伴う決算報告承認に関
する件（可決）
③調布市福祉まつり参画に伴う予算執行に関する件（可決）
④2009年度社団法人調布青年会議所 12月第一例会に関する件（可決）
⑤2009年度社団法人調布青年会議所 調布JCのPR媒体の作成に関する件（可決）
⑥2010年度社団法人調布青年会議所 事業計画（案）承認に関する件（可決）
⑦2010年度社団法人調布青年会議所 収支予算（案）承認に関する件（可決）
⑧2010年度社団法人調布青年会議所 組織図（案）承認に関する件（可決）

理事会出席表

○：出席 ×：欠席 △：遅刻早退 委：委任状

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	臨時	10	11	12	13	合計	出席率
月 / 日	11 / 20	12 / 19	1 / 29	2 / 26	3 / 26	4 / 23	5 / 28	6 / 25	7 / 23	8 / 5	8 / 27	9 / 24	10 / 22	11 / 26		
理事会出席率	86	90	90	100	95	95	90	90	95	63	81	95	86	100		90
理事会出席数	19	20	20	22	21	21	20	20	21	14	18	21	19	22		
梶原 良介	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14 / 14	100
渡邊 弘樹	委	○	○	○	○	○	○	○	○	委	○	○	○	○	12 / 14	85
中村 陽一	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14 / 14	100
大前 勝巳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	委	○	12 / 14	85
新國 政和	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14 / 14	100
金子 剛	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	10 / 14	71
天沼 寛	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	13 / 14	92
原島 秀一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	委	○	○	○	○	13 / 14	92
川端 宏志	○	○	○	○	○	○	○	○	○	委	委	○	○	○	12 / 14	85
後藤 文誉	委	○	○	○	○	○	○	○	○	○	委	○	○	△	12 / 14	85
小川 陽一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14 / 14	100
加藤 雄一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14 / 14	100
松永 和磨	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14 / 14	100
荒井 一如	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14 / 14	100
山本 征博	○	○	○	○	○	△	○	○	○	委	○	○	○	○	13 / 14	92
小野 肇	○	○	△	○	△	△	○	○	○	○	委	△	○	○	13 / 14	92
渋川 潤	○	○	委	○	○	○	○	○	○	委	○	○	○	○	12 / 14	85
片桐 道祐	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14 / 14	100

井上 耕志	委	委	○	○	○	○	委	委	○	委	委	○	○	○	8 /14	57
和田 勝幸	○	○	○	○	委	○	○	○	委	委	○	委	×	○	9 /14	64
小山 晃一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14 /14	100
芝村 麻	○	○	委	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13 /14	92
セクレタリー	高木	菅	嵐	前村	岡本	後藤 和寛	富澤 聡	堀内	榎本	菅	山田	高橋 昇三	新川	富澤 進		

役員報告

副理事長

渡邊 弘樹

2009年、小川委員長率いる指導力、そして後藤委員長率いる拡大、私にとって2委員会担当の副理事長は始めてであり、両委員長と一緒に1年間勉強しながらのスタートでした。当初は心配した小川委員長でしたが委員会メンバー一同、本気で事業に取り組む素晴らしい成果、そして関わった委員会メンバーが素晴らしく成長していくのを見させて頂きました。そして、会員開発交流委員会として拡大を行なった後藤委員長は、妥協せずに真直ぐに拡大に挑み楽しみながら、そして身を粉にして行ない28名という素晴らしい数字と、今後を担う素晴らしいメンバーを入会させ育ててくれました。2010年その素晴らしいメンバーと共に歩んで行きたいと思っております。本当に1年間お疲れ様でした。

副理事長

中村 陽一

2009年度、過去に自分が委員長を務めた総務、青少年委員会の担当を仰せつかりました。青年会議所も時代に即した積極的な変化を求められる中、自分が務めた頃と比べ、総務では理事会運営、HPなど例年になりにリニューアル、京王閣での納涼例会。青少年ではわんぱく相撲のスリム化やシステム作り、対外事業でのボランティアとの積極的な関わりなど意義のある変化を実感いたしました。両委員長にはかなり無理なお願いをしたかと思いますが、委員会メンバーと共に良い思い出が出来たのではないかと思います。担当メンバーの成長を見ながら青年会議所の単年度性の意義を実感し、そして私自身がみんなに成長させていただきました。一年間有難う御座いました。

副理事長

大前 勝巳

他の副理事長と異なり、1委員会のみ担当ということで、担当委員会に注力できる環境を与えていただきましたこと、他2名の副理事長並びに執行部のみなさまに心より感謝申し上げます。

理事長や専務からの、時に単刀直入で、時に回りくどい“プレッシャーと戦いながら、荒井委員長、小山副委員長、そして“本気”で満ち溢れたメンバーに恵まれたおかげで、なんとか最後まで副理事長職を全うすることができました。「最優秀JAYCEE賞」と「理事長特別賞」、そして「優秀グループ賞」を担当委員会メンバー並びに委員会に頂けましたこと、心より誇りに感じております。いろんなことを学ばせていただいた1年間でした。本当にありがとうございました。

専務理事

原島 秀一

「全てはメンバーのために！」妥協せずに対内的、対外的に「背中」を見せ続けた梶原理事長のもとで専務理事を務めることができ、私はこの一年本当に幸せでした。メンバー（特に理事会構成メンバー）には、あらゆる点で厳しかったかもしれませんが、社団法人格を取得している青年会議所の社会的責任として最低限のルールを守る必要がありました。

この一年間、私が担当した委員会を含め、多くのメンバーがモチベーションを落とすことなく「本気で感動を追求」し続けているシーンを感じる事ができ、私にとって最高のJCライフを過ごすことができました。

この一年間、情熱を注ぎ込み続けながら役職を全うさせて頂き、メンバーを初め全ての皆様方に感謝申し上げます。

「梶原理事長の専務理事」やらせて頂いて本当に良かった。どうもありがとうございました。

副専務理事

川端 宏志

財務担当理事兼副専務理事として一年間を振り返りますと非常に早く密度の濃い一年間であったなぁと感じます。理事長と専務を影で支えつつメンバー皆様にはより身近な副専務としてお付き合いさせていただこうと心がけていましたが、私の役不足でどちらも中途半端になって終わってしまったような気がしてなりません。

ただ、一年間理事長・専務の傍にいますと自ずと組織の仕組みや理事の皆さんの考えがものすごく見えた一年でした。本当に大切なのは何か？熱い情熱をもった二人の背中を追っかけるのに必死だった一年に感じます。

財務として、専務に非常に助けられながら何とかやり遂げることができました。専務ありがとうございました。

監事

金子 剛

2009年度の様々な場面において、「メンバーの自己満足に終わっていないか」といったことや、「理事長の所信に則った運営がなされているか」等といったように、同じメンバーでありながらも常に客観的な目をもって臨みました。

しかし、私以上に、「より良い事業にするためにどうすべきか」「もっと修正するところはないか」といった姿勢が皆さんに感じられた年度であったように思います。特に理事会では各事業に向けて、熱い議論が交わされ、正にスローガンに掲げていた「本気の行動力」があらこちらで見られました。そんな皆さんを見るにつけ、私自身が自分の役不足に気付かされたようにも思います。

終わりに、現役最後の年にこのような大役を与えていただいたことに感謝申し上げ監事報告とさせていただきます。

監事

天沼 寛

2009年度梶原理事長のもと、監事の大役を務めさせて頂きました。念頭より一年を通じて自分なりに監事の立場で物事に接し、意識しながら過ごさせて頂きましたが、そこで、今までにはない、見えてくるものや感じるが多々ございました。しかしながら、その点をしっかりと監事講評等で、伝えきることができなかったことが残念であります。いずれにせよ、貴重な経験をさせて頂いたので、今後に活かす所存でございます。1年間、本当に有難うございました。

委員会報告

会員開発交流委員会

委員長 後藤 文誉

第1回目の委員会では新入会員さんも一緒に理事長所信の熟読し自己紹介を行い、すべての会議の議事録を作成し、参加者、欠席者への情報共有化に努め、毎回懇親会幹事という役割を任命することによって、委員会参加時の役割を設けることによって出席率をアップしつつ親切丁寧に運営を心がけ常に会員拡大につながる懇親会場を考え、入会見込みがない、大手居酒屋さんでの懇親会は開催しませんでした。(まだまだ調布 JC 事務局周辺の飲食業オーナーさんの入会見込みはありません)

我々の担当事業は3つの例会を行いました、お陰様で2009年度入会された会員さんは優秀だった為、全ての事業は非常にレベルの高い例会を実施できました。

そして1年通じて行った会員拡大ですが『毎週火曜日は拡大の日』という情報発信を毎週火曜日に理事メールへ1年間、送信続けることによってJCへ入会したからといっても事業だけを行ってればいいという意識ではなく、事業を行うにあたっては、会議所内外さまざまなお客さま様へ働きかけることによって、JCの良さも悪さも知っていただき、その趣旨をご理解いただける仲間を増やしていく必要があることにメンバーも気づいていただけたのではないかと確信しており、そして皆様のご協力があったからこそリーマンショック後、100年に一度の不況にも関わらず、奇跡的な数字『28名』の入会いただける経緯に至りました。

結果、調布JCの拡大ノウハウは各地青年会議所(広島、富山、岩手、埼玉、東京・・・ブロック内)のメンバーより問い合わせをいただき資料を送ったり、面談したりと『拡大の和』を全国に波及していている状況でございます。

でもロム内での残念なことに仕事の都合などで委員会へ一度も参加できなかったメンバーが3名おりましたことが心残りですが、2010年度以降は自らが積極的、率先して会へ参加いただけることを願います。(各配属先の委員長、副委員長、幹事さん ご配慮ください)

最後に小野副委員長と渋川副委員長より入会時より5歳も年上にも関わらず『後藤さん』と呼ばれておりましたが『ふみちゃん』と呼んでいただける関係が、きずけたところが最大の宝でして1年間微かな若輩委員長を支えていただいたことに心より感謝申し上げます。

副委員長 小野 肇

この1年間、この委員会の副委員長をさせて頂いたことに感謝いたします。委員長をはじめとする委員会スタッフの皆さんや28名もの新入会員さんから様々な気づき、考え方など学ばせて頂き自身が年の始まりに目標としたことは、達成できたと思います。この皆さんから頂いた経験をいかにして発信していくことが、お世話になった皆さんへの恩返しと想い今後の活動で表現出来ればと思います。また今年入会された方々が、近い将来きっと調布JCの中核となり力を発揮してくれることを期待しています。1年間一緒に委員会活動をさせて頂きありがとうございました。

副委員長 渋川 潤

2009年度、会員開発交流委員会・副委員長を務めさせて頂きました渋川潤です。

一年間を振り返りまして、はっきり言いますとこなす事で精一杯の一年だったと思います。

拡大やコミュニケーションの取り方などは後藤委員長におんぶにだっこでした、6月担当の6月例会につきましては、村越運営幹事を筆頭に新入会員のメンバーが本当に良く一致団結してくれ自分の足りないところを補ってくれて良い例会を作り上げてくれたと思っております。9月例会、12月例会についても同様だったと思います。

とにかく一年間後藤委員長をはじめ、委員会メンバーの皆様にはご迷惑を掛けっぱなしでしたが、

とても楽しく充実した、そしてほんのちょっとですが一年前よりは成長できたような気にさせて頂きまして本当にありがとうございました。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員会人数	人数
1	1/7	事務局2F	新春地域懇談会オブザーバー並びに新入会員 拡大情報収集担当者について他	6	5
2	2/6	事務局2F	理事長所信輪読、一年間の流れについて 6月例会について他	16	13
3	3/5	事務局2F	6月・9月・12月例会について他	18	14
4	4/2	あくろすホール	6月・9月・12月例会について他	20	12
5	4/16	あくろすホール	6月・9月・12月例会について他	20	12

6	5/12	事務局2F	6月・9月・12月例会について他	21	15
7	6/4	事務局2F	6月・9月・12月例会について他	26	19
8	7/7	事務局2F	9月・12月例会について他	28	22
9	8/4	事務局2F	9月・12月例会について他	28	21
10	9/2	事務局2F	9月・12月例会について他	32	18
11	10/2	事務局2F	12月例会について・委員会旅行について他	34	21
12	10/29	事務局2F	12月例会について・委員会旅行について他	35	22
13	11/27	事務局2F	12月例会について・委員会忘年会について他	35	19

※上記の他、例会ごとに、担当別小委員会を別途開催。

人・心指導力委員会

委員長 小川 陽一

人・心指導力委員会では一年の初めに会頭、ブロック、理事長、それぞれの所信を読み込みそれにそって運営してまいりました。正副委員長で決めるのではなく、委員会メンバー全員で決めた事をスタッフ会、理事会に上程させて頂きました。よってメンバー個々がしっかりと自分の役割を理解し積極的に動いてくれました。事業内容も委員会メンバーでしっかり話し合いする事で何故この事業をするのか、皆に何を伝え、学んでほしいのかを共有し合えたと思っております。人・心指導力委員会のメンバーに感謝するとともに、担当させて頂きありがとうございました。

副委員長 片桐 道祐

2009年人・心指導力委員会では「指導力系の事業は受身になりがちなので、できるだけメンバーが能動的に参加でき、なおかつ楽しい事業を行う。」という委員長の考えの下委員会メンバー全員で意見を出し、考え、事業を作っていくことが出来たと思います。また、公開委員会に於いては情報を発信すると共にメンバー自身に考えるきっかけとなればという思いで2回開催することが出来ました。何より良かった事は委員会メンバー全員が積極的かつ能動的に意見を出し行動して委員会が一丸になれたことだと思います。私にとって入会3年目でラストの年にこのような機会を頂き本当に感謝し、また楽しかったです。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員会人数	人数
1	12/14	事務局 1F	委員会方針	7	2
2	12/17	事務局 1F	年間スケジュール	7	3
3	1/13	事務局 2F	公開委員会について・4月例会について	7	5
4	1/20	事務局 2F	公開委員会について・4月例会について	7	6
5	1/27	事務局 2F	公開委員会について・4月例会について	7	5
6	2/3	事務局 2F	公開委員会について・4月例会について	7	6
7	2/11	事務局 2F	公開委員会について・4月例会について	7	5
8	2/19	事務局 2F	公開委員会について・4月例会について	7	5
9	2/23	事務局 2F	公開委員会リハーサル	7	5
10	2/27	事務局 2F	公開委員会	7	5
11	3/3	事務局 2F	公開委員会反省点・4月例会について	7	6
12	3/17	事務局 2F	4月例会について	7	5
13	3/31	事務局 2F	4月例会について	7	6
14	4/6	事務局 2F	4月例会について	7	5
15	4/14	事務局 2F	4月例会について	7	6
16	4/17	事務局 2F	4月例会について	7	6
17	4/28	銀八	4月例会反省点・10月例会について	7	5
18	5/11	事務局 2F	10月例会について	7	5
19	5/26	事務局 2F	10月例会について	7	6
20	5/27	調風	10月例会について	7	6
21	6/12	山うら	10月例会について	7	4
22	7/2	事務局 2F	10月例会について	7	4
23	7/14	あくろす	10月例会について	7	3
24	7/30	事務局 2F	10月例会について	7	4
25	8/6	銀座ふたご屋	10月例会について	7	3
26	8/7	ジョナサン	10月例会について	7	4

27	8/20	事務局2F	10月例会について	7	4
28	9/4	銀座ふたご屋	10月例会について	7	6
29	10/2	事務局2F	10月例会について	7	4
30	10/6	事務局2F	10月例会について	7	5
31	10/11	事務局2F	10月例会について	7	5
32	10/14	グリーンホール	10月例会リハーサル	7	5
33	10/19	事務局2F	10月例会リハーサル	7	5
34	10/28	事務局1F	10月例会反省点・公開委員会につて	7	4
35	11/11	事務局2F	公開委員会につて	7	5
36	11/27	デニーズ	公開委員会につて	7	5
37	12/2	事務局2F	公開委員会	7	5

青少年育成委員会

委員長 加藤 雄一

5月例会のわんぱく相撲では、地域との結びつきをテーマに開催しました。アメリカンスクールイン・ジャパンのPTAの方々も積極的に参加していただきました。前日が悪天候に見舞われ雨天会場へ急遽変更。参加する小学生の体調を考慮し、決定しました。10月第二例会は親子で参加するものづくり教室を開催。調布市のアイコンとして定着する「ゲゲゲの鬼太郎」のキャラクターをモチーフにコースターや写真立てを作成。募集要項を各学校に配布。定員80組を上回る210組の応募があり、親子参加型プログラムは人気が高いことを実感。福祉まつりでは10月第二例会で作成した「一反木綿」も展示。カレー粉をトッピングできるちゃんこ鍋を販売。

副委員長 井上 耕志

5月例会ではわんぱく相撲、10月第2例会では親子ものづくり教室、そして福祉まつりへの参画の3事業が中心となった青少年育成委員会でした。委員会メンバーは7名。少数精鋭で、全体のメンバーを巻き込ませていただいたの事業を行わせていただきましたが、改めてメンバーのみなさんのお力添えに感謝させていただく機会が本当に多い一年でした。事業の核になる部分については委員会メンバーと中村担当副理事長が一丸となり練り上げましたが、現場のフォローについては多くのメンバーの後押しによって、担当したすべての事業が成功裏に終了したと確信しています。青年会議所が青年会議所として、地域の中で「本気の行動力」を発揮するための、基盤作りを担うことのできた青少年育成委員会に所属できたこと。メンバーの熱い想いを感じながらひとつひとつの事業に打ち込めたことに、ただただ感謝しながら過ごすことのできた一年となりました。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員会人数	人数
1	1/16	事務局 1F	5月例会について（テーマについて）	7	3
2	2/5	事務局 1F	5月例会について（組織について）	7	3
3	2/19	事務局 1F	5月例会について（スケジュールの決定）	7	3
4	3/4	事務局 1F	5月例会について（備品について）	7	4
5	3/13	事務局 1F	5月例会に関する件	7	6
6	3/23	事務局 1F	わんぱく相撲調布場所配布物仕分け作業	7	6
7	4/8	事務局 1F	5月例会に関する件	7	3
8	4/25	事務局 1F	5月例会準備	7	3
9	4/27	事務局 1F	5月例会準備	7	3
10	4/28	事務局 1F	5月例会説明会	7	6
11	5/7	事務局 1F	5月例会準備	7	6
12	5/28	事務局 1F	5月例会準備	7	5
13	6/16	事務局 1F	5月例会準備	7	6
14	6/22	事務局 1F	わんぱく相撲東京都大会	7	5
15	7/14	事務局 1F	10月例会について	7	5
16	7/15	事務局 1F	10月例会について	7	6
17	7/16	事務局 1F	10月例会について	7	6
18	7/21	事務局 1F	10月例会について	7	6
19	7/22	事務局 1F	10月例会について	7	5
20	7/28	事務局 1F	10月例会について	7	5
21	8/4	事務局 1F	10月例会について	7	6
22	8/22	事務局 1F	10月例会に関する件	7	6
23	8/23	事務局 1F	10月例会準備	7	6
24	9/11	事務局 1F	10月例会準備	7	6
25	9/18	事務局 1F	10月例会準備	7	6
26	10/5	事務局 1F	10月例会リハーサル	7	6
27	10/21	事務局 1F	10月例会前日準備	7	6

総務啓発委員会

委員長 松永 和磨

自己啓発→総務啓発。一年間この言葉をテーマに和田副委員長と委員会名を、決定いたしました。委員会メンバーは、おかげ様で、最優秀新人賞。優秀新人賞と、取らせていただきました。はたして、それが各個人の自己啓発の成果だったかは、不明ですが、私と、和田副委員長には、最高のプレゼントになりました。また、あすの調布、理事会運営補佐、ホームページ、名簿、総会、PR媒体、納涼例会、発送作業と、一年間フル活動しました。そのかいもあって、友情も深まり、一生の仲間ができました。

総務委員会は、MUSTな仕事が多く、どちらかというと、地味な委員会的に思われがちですが、それは本当です。しかし、チャンスがあればまた総務委員会の委員長を、やってみたいと、私は思います。和田の下でもいいかな。

一年間貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

副委員長 和田 勝幸

2009年度。入会して10年、初めての理事を経験させていただきました。10年間、外からしかJC運動を見ていなかったのに今年は内側から見ようになり松永委員長の下、委員会を作りあげていく立場となりました。委員会運営は菅運営幹事・中野会計幹事がしっかり事前準備などしていただきスムーズな運営が出来たと思います。LOM褒賞にておいて両幹事が新人賞を取れたのは個人のスキルが高かったのは当然のことですが委員長の啓発力の賜物と信じます。事業としては7月の納涼例会以外は対内向けの内容でありましたが、対内向けの事がしっかり行われていてこそ、対外の事が出来ると思います。この1年、委員会名が示す啓発の文字通り松永委員長に啓発され、委員会メンバーに啓発された様に思います。そして、青年会議所が少しわかった気がします。1年間ありがとうございました。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員会人数	人数
1	10月28日	事務局 2階	年間予定、名簿、あすの調布	8	6
2	11月19日	事務局 2階	名簿、あすの調布	8	4
3	12月15日	事務局 1階	名簿、通常総会	8	5
4	12月24日	事務局 1階	発送作業	8	4
5	1月9日	事務局 1階	名簿、2月例会、HP運用	8	4
6	1月27日	旭ハウジング	2月例会（通常総会）	8	5
7	2月9日	事務局 1階	2月例会、発送作業	8	4
8	2月13日	事務局 2階	2月例会（通常総会）	8	4
9	2月27日	事務局 1階	会員拡大、あすの調布、HPについて、3月例会	8	6
10	3月5日	事務局 1階	あすの調布3月号、臨時総会	8	4
11	3月19日	事務局 2階	あすの調布3月号、納涼例会	8	5
12	3月28日	事務局 1階	あすの調布3月号、納涼例会	8	4
13	3月30日	事務局 1階	あすの調布3月号	8	2
14	4月7日	事務局 1階	納涼例会	8	4
15	4月28日	事務局 1階	納涼例会	8	4
16	4月30日	京王閣	納涼例会	8	4
17	5月7日	事務局 2階	納涼例会	8	5
18	5月11日	事務局 1階	納涼例会、あすの調布6月号	8	3
19	5月21日	事務局 1階	納涼例会、あすの調布6月号	8	5
20	6月4日	割烹はなむら	納涼例会、あすの調布6月号	8	4
21	6月15日	事務局 1階	納涼例会、あすの調布6月号	8	4
22	6月26日	事務局 1階	あすの調布6月号	8	4
23	7月3日	事務局 1階	納涼例会	8	4
24	7月10日	事務局 1階	納涼例会	8	4
25	7月17日	事務局 1階	納涼例会	8	4
26	7月22日	事務局 2階	納涼例会	8	4

27	8月4日	旭ハウジング	今後の予定について確認	8	4
28	8月20日	事務局 1階	あすの調布、臨時総会	8	4
29	9月8日	事務局 2階	あすの調布、臨時総会	8	4
30	9月18日	事務局 2階	あすの調布、臨時総会	8	3
31	9月29日	事務局 1階	あすの調布、発送作業、総会反省会	8	4
32	10月30日	事務局 2階	発送作業	8	4
33	11月19日	旭ハウジング	PR媒体、あすの調布、通常総会	8	2
34	11月25日	事務局 2階	発送作業	8	3
35	12月1日	事務局 1階	あすの調布、PR媒体、通常総会	8	4
36	12月17日	事務局 2階	PR媒体	8	4
37	12月21日	旭ハウジング	あすの調布	8	3
38	12月26日	事務局 1階	発送作業	8	4

続・まちづくり委員会

委員長 荒井 一如

まちづくりの委員長を務めるに当り「継続」を理念に掲げ、また理事長より「行政とのパイプの再構築」を依頼され1年を通し運営させて頂きました。担当した事業は、3月「調布青年経済人会議」・11月「調布市民討議会」の2例会と8月「公開委員会」の計3事業でしたが、2つの例会では他団体との実行委員会制ということもあり困難を極めた事もありましたが、3事業とも理念及び理事長依頼を基に実施出来たと思います。当然ながら事業を行なうに当り委員会メンバーを中心に、多くのメンバーに協力また助けて頂き支えられたことは、1年を通じ「人との繋がり」の大切さを学ばせて頂いた委員会でもあると思います。本当に皆様有難うございました。

副委員長 小山 晃一郎

2009年度 続・まちづくり委員会では、「調布青年経済人会議2009」「調布駅付近連続立体交差事業、2013年東京国体についての調査・研究・発信」「ちょうふ市民討議会2009」を担当致しました。それぞれの事業が無事開催できたのも、委員会メンバーをはじめ関わりを持っていただいた全ての方々のおかげだと考えており、感謝申し上げたいと思います。今まで何気なく住んでいた「わがまち調布」を色々な角度から見て、触れて、感じる事ができました。長年住んでいても知らないことが沢山あるのですね！皆様も是非新しい発見をしてみてください。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員会人数	人数
1	11/7	事務局2F	委員会方針説明	6	5
2	11/28	商工会館	経済人会議 2009について	6	9
3	12/15	事務局2F	経済人会議 2009・公開委員会について	6	3
4	12/25	事務局2F	経済人会議 2009について	6	8
5	1/6	事務局1F	経済人会議 2009について	6	5
6	1/16	事務局2F	経済人会議 2009について	6	6
7	1/21	事務局2F	経済人会議 2009について	6	10
8	2/5	事務局2F	経済人会議 2009について	6	9
9	2/16	事務局2F	経済人会議 2009について	6	13
10	3/5	林建設会議室	経済人会議 2009について	6	10
11	3/17	商工会館	経済人会議 2009リハーサル	6	11
12	4/6	事務局2F	経済人会議 2009について	6	9
13	4/14	えびすや	経済人会議 2009・今後の予定について	6	8
14	4/16	教育会館 301	市民討議会 2009について	6	17
15	4/28	林建設会議室	市民討議会 2009・公開委員会について	6	5
16	5/19	市役所	市民討議会 2009について	6	22
17	5/26	福竜	経済人会議 2009反省会	6	14
18	6/9	たづくり	市民討議会 2009について	6	21
19	6/13	事務局2F	公開委員会について	6	5
20	6/23	あくろす	市民討議会 2009について	6	16
21	7/2	事務局2F	公開委員会について	6	4
22	7/7	たづくり	市民討議会 2009について	6	19
23	7/21	たづくり	市民討議会 2009について	6	15
24	7/31	しとむ	現況報告および確認	6	6
25	8/4	たづくり	市民討議会 2009について	6	12
26	8/18	たづくり	市民討議会 2009について	6	14
27	8/25	事務局2F	公開委員会リハーサル	6	4
28	8/28	たづくり	公開委員会開催	6	29
29	9/4	銀八	指導力との合同委員会・今後の予定について	6	9
30	9/7	たづくり	市民討議会 2009について	6	19
31	9/12	事務局2F	市民討議会 2009について	6	9
32	9/18	たづくり	市民討議会 2009について	6	15

33	9/26	林建設会議室	市民討議会 2009 について	6	8
34	10/6	市役所	市民討議会 2009 について	6	21
35	10/24	事務局2F	市民討議会 2009 について	6	4
36	10/27	あくろす	市民討議会 2009 リハーサル	6	28
37	11/19	市役所	市民討議会 2009 について	6	16
38	12/17	林建設会議室	市民討議会 2009 について	6	17

※参加人数については「経済人会議2009」には商工会青年部メンバーと「市民討議会2009」には市の職員および公募市民を含むほか、副理事長とその他のオブザーバーを含みます。

長期ビジョン策定委員会

委員長 山本 征博

委員長の我が儘で委員会メンバーには苦勞をかけました。

新春地域懇談会は昨年専務としての経験を踏まえ完璧に行おうと1人で背負い込み過ぎました。公益法人制度改革は「劇をやりたいっ!」との私の一言で内容が決まり、6月の公開委員会にて劇とスライドを行いました。アンケート等を元に今後の方針は必ず次年度に繋げて行きます。LOM ビジョンの策定と提言は紆余曲折ありましたが、全メンバーの積極的な協力を頂き『39年目の想い』を対外向けリーフレット、体内向け冊子にまとめました。

一年を通じ全メンバーの積極的な協力と、無茶振りや思い付きが多い委員長に最後までついてきてくれた委員会メンバーに感謝致します。

副委員長 芝村 麻

長期ビジョン策定委員会では公益法人制度改革とLOMの今後を考えるとということで、始めました。沢山の方々のご協力があってこそ6月公開委員会であり、8月例会の現状分析でありました。半年をかけて皆様からの思いやご意見等をまとめたものは、まさにその証だと思っております。感謝申し上げます。一人ひとりが改めて、社)調布青年会議所を見つめなおすきっかけとなり、一つの道しるべとなれば幸いです。

最後に、山本委員長をはじめ理事役員並びに沢山の方々からの温かい思い、また愛情を肌で感じることができ、改めてJCのすごさを感じました。このことを糧に勇気を持って一歩を踏み出します。本当にありがとうございました。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員会人数	人数
1	10/2	はなむら	顔合わせ・年間事業予定・1月例会について	4	4
2	10/28	事務局1階	1月例会について	4	4
3	11/12	事務局2階	1月例会について	4	4
4	12/2	事務局1階	1月例会について	4	4
5	12/5	事務局1階	1月例会について(印刷作業)	4	3
6	12/24	事務局1階	1月例会について	4	4
7	1/6	事務局1階	1月例会について	4	4
8	1/16	事務局2階	1月例会について(リハーサル準備)	4	4
9	1/17	たづくり大会議場	1月例会について(リハーサル)	4	27
10	1/19	事務局1階	1月例会について	4	3
11	1/20	事務局1階	1月例会について	4	3
12	1/27	事務局1F	1月例会について(発送作業)	4	2
13	2/21	調布ボウリングセンター	1月例会について(反省会)・公益法人制度改革について	4	6
14	3/1	事務局1階	公益法人制度改革について	4	4
15	3/11	事務局1階	公益法人制度改革について	4	4
16	3/22	事務局1階	公益法人制度改革について	4	4
17	4/5	事務局1階	公益法人制度改革について	4	4
18	4/19	月の宴	公益法人制度改革について、長期ビジョンの策定と提言について	4	5
19	5/5	事務局1階	公益法人制度改革について	4	3
20	5/24	事務局1階	公益法人制度改革について、長期ビジョンの策定と提言について	4	3
21	6/3	事務局1階	公益法人制度改革について	4	4
22	6/7	事務局1階	公益法人制度改革について、長期ビジョンの策定と提言について	4	3
23	6/10	事務局1階	公益法人制度改革について、長期ビジョンの策定と提言について	4	4
24	6/18	事務局1階	公益法人制度改革について(備品買出し)	4	4
25	6/19	事務局2階	公益法人制度改革について(リハーサル)	4	7

26	6/23	事務局1階	公益法人制度改革について	4	4
27	6/24	たづくり映像シアター	公益法人制度改革について（公開委員会）	4	25
28	7/3	ビックエコー	長期ビジョンの策定と提言について	4	4
29	7/15	事務局1階	長期ビジョンの策定と提言について	4	4
30	7/19	事務局1階	長期ビジョンの策定と提言について	4	4
31	7/27	事務局1階	長期ビジョンの策定と提言について	4	4
32	8/1	事務局1階	長期ビジョンの策定と提言について	4	4
33	8/7	事務局1階	長期ビジョンの策定と提言について	4	4
34	8/15	事務局1階	長期ビジョンの策定と提言について	4	4
35	8/17	事務局1階	長期ビジョンの策定と提言について	4	4
36	8/23	事務局1階	長期ビジョンの策定と提言について	4	4
37	9/1	事務局1階	長期ビジョンの策定と提言について	4	4
38	9/8	事務局2階	長期ビジョンの策定と提言について（総務委員会と合同）	4	4
39	9/12	三孝開発	長期ビジョンの策定と提言について	4	4
40	9/23	事務局1階	長期ビジョンの策定と提言について	4	4
41	9/30	はなむら	長期ビジョンの策定と提言について（理事長懇話会）	4	6
42	10/4	事務局1階	長期ビジョンの策定と提言について	4	4
43	10/6	事務局1階	長期ビジョンの策定と提言について	4	4
44	10/12	事務局1階	長期ビジョンの策定と提言について（中間報告会準備）	4	4

理事長選挙管理委員会

委員長 中村 陽一

第一回委員会

日時：7月8日(水)

開催場所：事務局1階

出席者：金子 剛、中村 陽一、高坂 英樹、菅 寛人

会議内容：6月25日の理事会において理事長選挙管理委員会の設立が可決され、告示のために開催

1. 正副委員長の選出 委員長 中村陽一 副委員長 高坂 英樹
2. 選挙人名簿の確定をするために、財務担当理事より正会員の年会費支払い状況報告を受け、選挙人名簿の作成
3. 理事長選挙細則の制定
4. 告知文書として、7月8日付けの理事長選挙管理委員会が定めた細則、選挙人名簿の発送準備。
またそれらが、正会員に7月9日までに到着するようにする。
5. 発送作業

第二回委員会

日時：7月15日(水)

開催場所：事務局1階

出席者：金子 剛、中村 陽一、高坂 英樹、堀 善一、菅 寛人

会議内容：立候補締め切りのため開催

1. 7月8日付けの理事長選挙管理委員会の定めた細則のうち、立候補の締め切りの時点で社団法人調布青年会議所「理事長選挙に関する規定」第16条に規定する立候補者「渡邊弘樹君」からあり、同17条による資格審査の結果、候補者として適格と判断し告示する。さらに立候補者が一名のみであるので、同29条により「渡邊弘樹君」立候補者を社団法人調布青年会議所理事長選挙当選者と当委員会で決定した。
2. 告知文書として、社団法人調布青年会議所理事長選挙当選者名、それに伴う、履歴書及び青年会議所における経歴書、青年会議所に対する意見書の発送準備。
3. 発送作業

■その後の流れ■

09 理事会審議	7月23日	議案	社団法人調布青年会議所理事長選挙当選者	可決	
09 臨時総会	9月25日	議案	社団法人調布青年会議所理事長選挙当選者	可決	
09 通常総会	12月4日	議案	社団法人調布青年会議所理事長選挙当選者	可決	以上

褒賞委員会

委員長 川端 宏志

第1回褒賞委員会の開催/2009年度褒賞委員会

開催日時：平成21年12月9日(水) 21時30分~23時30分

開催場所：事務局2階

参加者：5名(梶原良介、金子 剛、天沼 寛、新国政和、川端宏志)

平成21年12月3日(木)までに申請のあった褒賞対象者(グループを含む)を部門ごとに検討し、以下の結果とした。

最優秀JAYCEE賞：続・まちづくり委員会 荒井 一如

優秀JAYCEE賞：青少年育成委員会 加園 丈晴

優秀JAYCEE賞：会員開発交流委員会 村越 知広

最優秀新人賞：総務啓発委員会 菅 寛人

優秀新人賞：会員開発交流委員会 岡本 英雄

優秀新人賞：会員開発交流委員会 高橋 昇三

優秀新人賞：総務啓発委員会 中野 竜太郎

最優秀グループ賞：会員開発交流委員会

優秀グループ賞：続・まちづくり委員会

理事長特別賞：小峯 充史

褒賞委員会特別賞：小山 晃一郎

優秀例会出席賞：梶原良介、新国政和、渡邊弘樹、中村陽一、原島秀一、川端宏志、天沼 寛、後藤文誉、渋川潤、小川陽一、片桐道弘、小峯充史、松永和磨、菅 寛人、川部秀彦、加藤雄一、荒井一如、小山晃一郎、堀善一、山本征博、三ツ木秀章、榎本陽介、嵐祐子

上記の内容を平成21年12月13日(日) 2009年度(社)調布青年会議所12月第2例会(納会)にて発表し、
賞状と記念品の授与を行いました。 以上

■2009年度(社)調布青年会議所 正会員例会出席状況 凡例 ○:出席 欠:欠席

	1月例会	2月例会	3月第1例会	3月第2例会	4月例会	5月例会	6月例会	7月例会	8月例会	9月第1例会	9月第2例会	10月第1例会	10月第2例会	11月例会	12月第1例会	12月第2例会		
月	1	2	3	3	4	5	6	7	8	9	9	10	10	11	12	12		
日	22	17	25	25	21	17	21	24	26	9	25	20	31	7・8	4	13		
例会	新春地域懇談会	第39回通常総会	例会(続・まちづくり)	臨時総会	例会(人・心指導力)	わんぱく相撲調布場所	例会(会員開発交流委員会)	納涼例会(総務啓発)	例会(長期ビジョン策定)	例会(会員開発交流委員会)	臨時総会	例会(人・心指導力)	例会(青少年育成)	市民討議会	第40回通常総会	卒業例会	出席数	出席率
正会員数	55	58	60	60	62	63	68	70	72	74	75	75	76	76	76	76	1096	
出席者数	51	48	46	46	47	51	45	59	50	51	54	58	47	52	45	60	810	
例会出席率	93%	83%	77%	77%	76%	81%	66%	84%	69%	69%	72%	77%	62%	68%	59%	78%	74%	
(スタッフ)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	88%	88%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		
梶原 良介	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
新國 政和	○	○	○	○	○	○	○	アテンダンス	○	○	○	アテンダンス	○	○	○	○	16	100%
渡辺 弘樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
中村 陽一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
大前 勝巳	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	15	93%
原島 秀一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
川端 宏志	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
金子 剛	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	93%
天沼 寛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
(会員開発交流)	100%	83%	66%	66%	66%	83%	100%	83%	83%	71%	71%	85%	71%	57%	42%	71%		
後藤 文誉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
小野 肇	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	14	87%
渋谷 潤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
村越 知広	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	12	75%
小笠原 長武	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	87%
渋谷 雄平	○	欠	欠	欠	欠	○	○	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	3	18%
西村友志	休会	休会	休会	休会	休会	休会	休会	休会	休会	欠	○	○	欠	欠	欠	欠	2	28%
(人・心指導力)	85%	71%	85%	85%	100%	85%	71%	71%	71%	85%	85%	100%	57%	85%	57%	71%		
小川 陽一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
片桐 道祐	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
小峯 充史	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
高橋 裕二	欠	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	13	81%
栗原 廣貴	○	欠	欠	欠	○	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	欠	欠	欠	欠	3	18%
高坂 英樹	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	欠	○	欠	○	12	75%
高島 岳仁	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	欠	13	81%
(総務啓発)	100%	100%	75%	75%	75%	62%	37%	87%	62%	62%	75%	62%	75%	87%	75%	75%		
松永 和磨	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
和田 勝幸	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	○	14	87%
菅 寛人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
中野 竜太郎	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	93%
鮎川 有祐	○	○	欠	欠	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	75%
尾崎 大介	○	○	欠	欠	欠	欠	欠	○	欠	欠	欠	欠	欠	○	欠	欠	4	25%
川部 秀彦	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	14	87%
中井 康雄	○	○	○	○	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	4	25%
(青少年育成)	85%	57%	42%	42%	57%	85%	42%	100%	42%	42%	71%	85%	85%	71%	57%	85%		
加藤 雄一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
井上 耕志	○	○	欠	欠	○	○	欠	○	欠	欠	○	○	○	○	欠	○	10	62%
福田 貴史	○	○	○	○	欠	○	欠	○	欠	欠	○	○	○	○	欠	○	11	68%
斉藤 喜兆	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	93%
加園 丈晴	○	欠	欠	欠	欠	○	○	○	欠	欠	○	○	○	欠	○	○	9	56%
杉崎 海陽	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	1	6%
中嶋 保明	○	欠	欠	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	12	75%

	1月例会	2月例会	3月第1例会	3月第2例会	4月例会	5月例会	6月例会	7月例会	8月例会	9月第1例会	9月第2例会	10月第1例会	10月第2例会	11月例会	12月第1例会	12月第2例会		
月	1	2	3	3	4	5	6	7	8	9	9	10	10	11	12	12		
日	22	17	25	25	21	17	21	24	26	9	25	20	31	7・8	4	13		
例会	新春地域懇談会	第39回通常総会	例会(続・まちづくり)	臨時総会	例会(人・心指導力)	わんぱく相撲調布場所	例会(会員開発交流委員会)	納涼例会(総務啓発)	例会(長期ビジョン策定)	例会(会員開発交流委員会)	臨時総会	例会(人・心指導力)	例会(青少年育成)	市民討議会	第40回通常総会	卒業例会	出席数	出席率
(続・まちづくり)	100%	83%	100%	100%	100%	100%	66%	100%	83%	83%	66%	83%	83%	100%	66%	100%		
荒井 一如	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
小山 晃一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
堀 善一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
安藤 貴弘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	15	93%
鈴木 典子	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	13	81%
巴山 勝済	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	欠	欠	欠	欠	○	欠	○	9	56%
(長期ビジョン策定)	100%	100%	100%	100%	50%	100%	100%	100%	100%	75%	100%	100%	75%	75%	100%	100%		
山本 征博	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
芝村 麻	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	14	87%
高木 隆	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	13	81%
三ツ木 秀章	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	アテンダンス	○	○	○	○	16	100%
(新入会員)	85%	80%	66%	66%	64%	71%	63%	80%	60%	60%	57%	61%	33%	44%	39%			
岡本 英雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	14	87%
柳川一郎	○	欠	欠	欠	欠	休会	休会	休会	休会	休会	休会	休会	休会	休会	休会	休会	1	20%
野崎 壮吉郎	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	欠	○	欠	○	○	○	12	75%
前村 久美子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	欠	○	13	81%
榎本 陽介	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
杉浦 隆史	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	1	6%
嵐 祐子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	100%
高橋 昇三		○	○	○	欠	○	○	欠	欠	○	欠	○	欠	欠	欠	○	8	53%
後藤 和寛		○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	12	80%
富澤 聡		○	欠	欠	欠	○	○	欠	欠	欠	○	欠	欠	欠	欠	欠	4	33%
新川 文康			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	100%
柴田 実久			欠	欠	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	欠	○	9	64%
白浜 利崇					○	欠	○	○	欠	欠	○	○	欠	欠	欠	○	6	50%
佐藤 美和					欠	○	欠	○	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	○	3	25%
堀内 信宏						欠	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	欠	7	63%
山口 大輔							欠	○	欠	○	欠	○	欠	欠	欠	○	4	40%
伊藤 和隆								○	○	○	○	欠	○	○	○	○	9	90%
石井 宏芳								欠	○	○	欠	欠	欠	欠	欠	○	3	30%
富沢 進太郎								欠	○	○	○	欠	○	欠	欠	○	5	50%
中島 茂雄									欠	○	欠	欠	欠	欠	欠	欠	1	10%
長谷川 正										○	○	○	○	○	○	○	9	100%
山田 啓二郎										○	○	○	○	○	○	○	9	100%
住 友宏											欠	欠	○	○	欠	欠	3	37%
村澤 健太											○	欠	欠	欠	欠	欠	1	12%
佐藤 優												欠	欠	欠	欠	欠	0	0
谷口 功一												欠	欠	○	欠	欠	2	28%
清水 崇司												欠	○	○	○	○	6	100%
藤生 健														欠	欠	欠	1	25%

正会員数には休会者を含む

2009年度 社団法人 調布青年会議所

決 算 報 告 書

収支計算書

正味財産増減計算書（フロー式）

貸借対照表

財産目録

什器備品内訳書

計算書類に付する注記

以下のとおりご報告申し上げます。

2009年度 社団法人 調布青年会議所

理 事 長 梶 原 良 介 (印)

専務理事 原 島 秀 一 (印)

財務担当理事 川 端 宏 志 (印)

平成21年度 (社) 調布青年会議所収支計算書

自平成21年1月1日～至平成21年12月31日

単位(: 円)

I. 収入の部

勘定科目 大中小	予算額	決算額	増減	備考		
				内容	予算額	決算額
1. 会費収入	7,841,500	8,989,850	1,148,350	正会員会費	5,760,000	5,760,000
1. 会費収入	7,841,500	8,989,850	1,148,350	新入会員会費	1,350,000	2,280,000
1. 会費収入	7,841,500	8,989,850	1,148,350	賛助会員会費	700,000	870,000
				日本JC出向負担金	0	20,000
				ブロック出向負担金	31,500	59,850
2. 入会金収入	375,000	700,000	325,000	新入会員	375,000	700,000
1. 入会金収入	375,000	700,000	325,000			
1. 入会金収入	375,000	700,000	325,000			
3. 事業収入	950,000	900,675	-49,325	わんぱく相撲	400,000	225,675
1. 事業収入	950,000	900,675	-49,325	新春懇談会(来訪JC)	300,000	425,000
1. 事業収入	950,000	900,675	-49,325	新春懇談会(シニア負担金)	150,000	150,000
				納涼懇談会(シニア負担金)	100,000	100,000
4. 預金収入	1,000	19,181	18,181			
1. 預金収入	1,000	19,181	18,181			
1. 預金収入	1,000	19,181	18,181			
5. 雑収入	680,000	603,225	-76,775	シニアクラブ通信負担金(Fネット)	120,000	82,172
1. 雑収入	680,000	603,225	-76,775	シニアクラブ郵送負担金発送物	120,000	138,240
1. 雑収入	680,000	603,225	-76,775	シニアクラブ名簿負担金名簿作成費	70,000	74,750
				その他(祝金,自販機手数料)	170,000	220,063
				卒業例会(レジャー登録料)	200,000	88,000
6. 周年事業取崩収入	0	0	0			
1. 周年事業積立取崩収入	0	0	0			
1. 周年事業積立取崩収入	0	0	0			
当期収入合計	9,847,500	11,212,931	1,365,431			
前期繰越収支合計	1,447,470	1,447,470	0			
収入合計	11,294,970	12,660,401	1,365,431			

II. 支出の部

単位(: 円)

勘定科目 大中小	予算額	決算額	増減	備考		
				内容	予算額	決算額
1. 事業費	5,390,000	4,663,425	-726,575			
1. 給料手当	0	0	0			
1. 給料手当	0	0	0			
2. 文化まわづくり事業費	2,370,000	1,937,289	432,711			
1. 諸謝金	140,000	282,991	-142,991			
2. 消耗品費	1,330,000	888,067	-441,933			
3. 通信運搬費	177,000	194,735	-17,735			
4. 印刷製本費	440,000	469,096	-29,096	内、事務局印刷機使用		16,545
5. 旅費交通費	0	0	0			
6. 賃借料	283,000	102,400	-180,600			
3. 産業経済事業費	700,000	582,807	-117,193			
1. 諸謝金	50,000	0	-50,000			
2. 消耗品費	480,000	522,562	-42,562			
3. 通信運搬費	50,000	2,600	-47,400			
4. 印刷製本費	110,000	53,400	-56,600	内、事務局印刷機使用		0
5. 旅費交通費	0	0	0			
6. 賃借料	10,000	4,245	-5,755			
4. 青少年健全育成事業費	1,000,000	813,540	-186,460			
1. 諸謝金	90,000	70,000	-20,000			
2. 消耗品費	700,000	563,578	-136,422			
3. 通信運搬費	20,000	56,020	-36,020			
4. 印刷製本費	150,000	110,522	-39,478	内、事務局印刷機使用		8,138
5. 旅費交通費	0	13,420	13,420			
6. 賃借料	40,000	0	-40,000			
5. 指導力等研究実践事業費	1,320,000	1,329,789	-9,789			
1. 諸謝金	370,000	444,490	-74,490			
2. 消耗品費	410,000	563,838	-153,838			
3. 通信運搬費	0	0	0			
4. 印刷製本費	260,000	239,336	-20,664	内、事務局印刷機使用		10,131
5. 旅費交通費	0	0	0			
6. 賃借料	280,000	82,125	-197,875			
2. 管理費	4,363,300	3,762,719	-600,581			
1. 事務費	2,666,300	2,556,841	-109,459	2. 総会資料印刷代	100,000	64,050
1. 消耗品費	200,000	150,525	-49,475	2. 会員名簿作成代	200,000	200,000
2. 印刷製本費	670,000	609,358	-60,642	2. フリッター入り	150,000	154,980
3. 通信運搬費	500,000	363,963	-136,037	4. パソコン購入支出	0	0
4. 什器備品	50,000	22,000	-28,000	5. LOM登録料等	100,000	10,700
5. 負担金支出	1,146,300	1,333,280	-186,980	5. 日本JC基本金	45,000	60,000
6. 雑費	100,000	77,715	-22,285	5. 日本付加金	508,400	645,980
				5. 購読料	186,000	201,750
				5. 日本出向負担金	0	20,000
				5. 関東地区基本金	10,000	10,000
				5. 関東地区付加金	31,000	35,000
				5. ブロック基本金	40,000	40,000
				5. ブロック出向負担金	22,050	59,850
				5. ブロック付加金	186,000	250,000
				6. JC保険料	13,600	0
2. 事務所経費	280,000	172,601	-107,399			
1. 給料手当	0	0	0			
2. 賃借料	0	0	0			
3. 水道光熱費	180,000	138,056	-41,944			
4. 雑費	100,000	34,545	-65,455			
3. その他の管理費	1,417,000	1,033,277	-383,723	1. 表彰委員会費	50,000	36,496
1. 消耗品費	167,000	96,496	-70,504	1. 卒業記念品	60,000	60,000
2. 諸費	1,250,000	936,781	-313,219	1. その他の消耗品費	57,000	0
				2. 納会	780,000	609,848
				2. 公務費・その他(慶弔類)	300,000	286,221
				2. 長期ビジョン策定委員会	170,000	40,712
3. 積立金支出	1,400,000	1,400,000	0			
1. 周年事業積立支出	1,200,000	1,200,000	0			
1. 周年事業積立支出	1,200,000	1,200,000	0			
2. 事務所移転積立支出	200,000	200,000	0			
1. 事務所移転積立支出	200,000	200,000	0			
4. 予備費	131,670	0	-131,670			
1. 予備費	131,670	0	-131,670			
1. 予備費	131,670	0	-131,670			
当期支出合計	11,284,970	9,826,144	-1,458,826			
当期収支差額	-1,437,470	2,834,257	4,271,727			
次期繰越収支差額	0	2,834,257	2,834,257			

平成21年度 正味財産増減計算書（フロー式）

自：平成21年1月1日 至：平成21年12月31日

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	0		
② 受取入会金			
受取入会金	700,000	250,000	450,000
③ 受取会費			
正会員受取会費			
年会費	8,040,000	6,540,000	1,500,000
その他会費	79,850	140,000	△ 60,150
賛助会員受取会費	870,000	980,000	
④ 事業収益			
委員会事業収益	900,675	1,575,000	△ 674,325
⑤ 受取補助金等	0	0	
⑥ 受取寄付金	0	0	
⑦ 雑収益			
受取利息収益	19,181	14,228	4,953
その他雑収益	603,225	519,965	83,260
⑧ 他会計からの繰入金	0		
基金会計からの繰入金	0		0
経常収益計	11,212,931	10,019,193	1,193,738
(2) 経常費用			
① 事業費			
文化まちづくり事業費	1,937,289	1,828,210	109,079
産業経済事業費	582,807	790,931	△ 208,124
青少年健全育成事業費	813,540	2,497,084	△ 1,683,544
指導力等研究実践事業費	1,329,789	819,306	510,483
② 管理費			
給料手当	0	0	0
会議費	0	0	0
旅費交通費	0	0	0
通信・発送費	363,963	516,930	△ 152,967
消耗品費	269,021	309,770	△ 40,749
印刷製本費	454,378	693,136	
リース料	154,980	154,980	
水道光熱費	138,056	143,103	△ 5,047
地代家賃	0	0	0
保険料	10,620	24,220	△ 13,600
租税公課	0	0	0
渉外費	286,221	243,463	42,758
雑費	752,200	857,301	△ 105,101
減価償却費	42,479	273,981	△ 231,502
③ 負担金	1,333,280	1,085,445	247,835
④ 他会計への繰入金	0		
経常費用計	8,468,623	10,237,860	△ 1,769,237
当期経常増減額	2,744,308	△ 218,667	2,962,975
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産売却損			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,744,308	△ 218,667	2,962,975
一般正味財産期首残高	7,728,030	7,946,697	△ 218,667
一般正味財産期末残高	10,472,338	7,728,030	2,744,308
II. 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等			
受取国庫補助金			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	10,472,338	7,728,030	2,744,308

貸借対照表

平成21年12月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	2,986,429		
未収入金	12,600		
前渡金	7,700		
流動資産合計		3,006,729	
2. 固定資産			
その他の固定資産			
基本金特定預金	3,000,000		
周年事業特定預金	2,100,000		
事務所移転特定預金	2,350,000		
什器備品	42,481		
電話加入権	145,600		
その他の固定資産合計		7,638,081	
資産合計			10,644,810
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	172,472		
流動負債合計		172,472	
負債合計			172,472
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産			10,472,338
負債及び正味財産合計			10,644,810

財 産 目 録

平成21年12月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	905,032		
普通預金	2,081,397		
(マイナス農業協同組合調布支店)	246,017		
(みずほ銀行調布支店)	110,114		
(三井住友銀行調布駅前支店)	915,728		
(三菱東京UFJ銀行調布支店)	809,225		
(多摩中央信用金庫)	313		
未収金	12,600		
前渡金	7,700	3,006,729	
流動資産合計			
2. 固定資産			
その他の固定資産			
基本金特定預金	3,000,000		
周年事業特定預金	2,100,000		
事務所移転特定預金	2,350,000		
什器備品	42,481		
電話加入権	145,600		
その他の固定資産合計		7,638,081	
資産の部合計			10,644,810
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	172,472		
前受金			
流動負債合計		172,472	
負債の部合計			172,472
正味財産			10,472,338
負債及び正味財産合計			10,644,810

什器備品内訳書

平成21年12月31日現在

(単位：円)

品名	数量	価格
① 事務机	3	0
② パイプイス	40	0
③ 長テーブル	8	0
④ ホワイトボード	2	0
⑤ ファクシミリ	1	0
⑥ アンブセット	1	0
⑦ スキャナー	2	0
⑧ 冷暖房器具	3	0
⑨ 事務所設備	1	0
⑩ レーザープリンター (A4)	1	0
⑪ 長尺プリンター	1	25,286
⑫ 折り機	1	0
⑬ 応接セット	1	0
⑭ 倉庫	2	0
⑮ テレビ	2	0
⑯ パソコン	2	0
⑰ シート、電線、架設照明等 (1式)	1	17,195
合計		42,481

計算書類に付する注記

1. 重要な会計方針

① 資金の範囲について

資金の範囲については、現金、普通預金、未収入金、前渡金、未払金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は 2. に記載の通りである。

② 固定資産の減価償却について

減価償却累計額及び当期末残高は 3. に記載の通りである。

2. 次期繰越収支差額の内容は次の通りである。

(単位：円)

科目	前期末残高	借方合計	貸方合計	当期末残高
現金・普通預金	2,629,712	17,349,789	16,993,072	2,986,429
未収入金	569,031	12,600	569,031	12,600
前渡金	7,700	7,700	7,700	7,700
合計	3,206,443	17,370,089	17,569,803	3,006,729
未払金	1,385,823	1,385,823	172,472	172,472
前受金	373,150	373,150	0	0
合計	1,758,973	1,758,973	172,472	172,472
次期繰越収支差額	1,447,470	19,129,062	17,742,275	2,834,257

3. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次の通りである。

(単位：円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
事務所設備	2,100,000	2,100,000	0
パソコン	400,000	400,000	0
倉庫	370,000	370,000	0
長尺プリンター	126,429	101,143	25,286
その他の什器備品	85,974	68,779	17,195
合計	3,082,403	3,039,922	42,481

※その他の什器備品については、什器備品内訳書を参照。

監査報告書

1. 監査の実施

監事 金子剛、天沼寛は、平成22年1月28日、社団法人調布青年会議所事務局において、社団法人調布青年会議所の平成21年度（監査対象期間、平成21年1月1日から平成21年12月31日まで）の理事役員の職務、及び会計状況について監査を行いました。

なお、この監査においては、2009年度理事長 梶原良介、専務理事 原島秀一、財務担当理事 川端宏志の3名が立ち会いました。

2. 監事所見

監査の結果、監事の意見は次の通りです。

- (1) 理事役員の職務状況は適正と認めます。
- (2) 会計業務については、正確、適正と認めます。

以上のとおりご報告いたします。

平成22年1月28日

監 事 金 子 剛 (印)

監 事 天 沼 寛 (印)

2010年度（社）調布青年会議所

理事長所信

第40代理事長 渡邊 弘樹

2010年度スローガン

感謝と共に新たな一歩
～個々の『勇氣』から得る確かな変化の実感～

はじめに

1949年、戦後の混沌とした時代に東京の48名の若き青年達が集い日本で始めて青年会議所が立ち上がりました。それから21年後の1970年、調布の若き18名の志士達が集い、調布に1つの光を落とししてくれました。

（社）調布青年会議所の設立目的に書いてある一文です。

本会議所は、指導者訓練を基調とした修練と社会奉仕活動により社会・産業経済に関する諸問題を調査研究し、真に豊かな生活の実現を目指して快適で活力ある地域を創造することを目的とする

それから40年経った今、その光は年輪の様に何重にも輪光を広げ、調布のまちを包もうと努力をしているのです。その光の1つ1つは、先輩方が積み上げた大切な時であり、想いであります。その光を我々はしっかり継承し、広げていくことが現役メンバーとしての責務であり、それを忘れ、個々の想いだけで進んでしまうことや、自己満足だけで進んでしまうと、輪光が形を崩してしまうのです。

2010年度、我々は設立目的から事業の本質を見直し、これからの10年後、20年後、調布のまちのあるべき姿を考え、輪光を継承していかなければならないのです。

40周年を迎えるにあたり

（修練から生まれる奉仕の心）

近年、日本人の多くは個々の時間を尊重することに偏り、人とのコミュニケーションを嫌がり、辛い事から逃げ、目先の楽しさに心を奪われ、興味の無い事には見向きもせず、自分さえ良ければいいと考える人が増えてきています。人は人と接することにより、自分の愚かさや心の痛みを知り、人を敬う心を覚え、辛い事に自ら挑むことで自分自身の殻を破り、新しい自分自身に出会い、本来であればその出会いが人間を成長させていくはずが、逆行を歩む人々が世に増えてきたことにより、「日本人の心」つまり「日本人の精神」が失われつつあるのです。だからこそ我々は（社）調布青年会議所を作り上げた先輩達の「日本人

の心」を 40 年と言う節目の年だからこそ、しっかり見つめ直し、修練（辛い事）から学ぶ大切な経験を勉強していかなければいけないのです。時には自分の為にならない事でも一生懸命やり、時には興味の無い事も一生懸命やる。そうした行動から、やがて人の為になる奉仕の心を磨くことが 40 周年を迎える我々メンバーに課せられた責務であり、見直す機会なのです。

行動こそ力なり

（まちを創造し、運動を起こす力）

戦後日本経済は加速的な発展をし、東京オリンピックを境に東京のまちは様変わりをしてまいりました。それから 46 年の歳月が経ち、当時の計画が今尚残る調布では、発展したくても出来ない商店街や、用途地域の商業エリアが狭く、構造物の制限地域が中心市街地に多くあり、その為土地の値段や家賃の高騰により個人商店が減少し、古くからあった街並みが、大手フランチャイズの進出により様変わりをしております。便利になった反面、魅力が失われつつあるようにも思えるこのまちを、我々は目を向けていかなければならないのです。

今までは、行政主体で行なって来た調布のまちづくりですが、今では市民の声を聞き、そしてそれを反映しようとしている行政がおります。ですが、現実的には一部の市民の声しか反映されず、本当に市民が思うまちづくりが出来ているのでしょうか。住んでいる市民の理想のまちは何なのか？今後このまちには何が必要なのか？このまちにあったビジョンで、我々がもっと将来を見据え、まちづくりの一助となり、市民が誇れ、そして子どもたちが大人になっても住んで居たいと思えるようなまちを創造し、それを形にしていく事で、10 年後、20 年後の子どもたちに素晴らしいまちを残していく事が出来るのです。生まれ育ったこの我がまち調布を、素晴らしい形で後世へ残していく事が、我々の責務なのです。

地域経済発展の一途に

（今こそ真剣に考え取組む力）

2008 年のリーマンショック以降、世界不況の波がこの日本にも上陸し、その結果、企業倒産・リストラなどが日本中を襲いました。調布でもその波に襲われ、多くの企業に影響が及び、苦しい時代が訪れてきたのです。ですが、いつまでも後ろ向きでは地域経済の発展には結びつかないでしょう。いつでも前向きに挑戦していく事で、地域経済の発展の機会を作り、そこから産業が生まれ、微小ですが経済が回りだすのです。

調布のまちは今、様変わりをしている最中です。だからこそ、今、私たち若者が手を取り合いやれることは何か？このまちには何が必要なのか？我々で地域経済発展の為に何か出来ないかをすぐにでも考えていかなければならないのです。「映画のまち」「そばのまち」「鬼太郎のまち」様々な呼び名のある我がまち調布は、ちょっとしたきっかけで変貌できる材料があり、スパイスを我々が入れることで素晴らしいまちへ変わることでしょう。**まちづくり＝経済発展**という形をしっかりと考えながら、まちづくりで行なう地域設計、そこから生まれる地域経済の発展を活かしながら、我々はしっかりと地域経済再生へのグランドデザインを描いていかなければならないのです。

未来ある子どもの純粋な笑顔 (大人としてしっかり考える力)

私たちが、子どもの頃を思い浮かべて見てください。多くの自然があり、子どもたちが、広場で遊び、近所の方々が子どもたちを見守り、誰でも挨拶でき、悪い事をすれば学校でも怒られ、正座をさせられる環境だったと思いませんか。しかしながら、現在では全てがそうではありませんが、子どもたちが家に籠り、ゲームを与えられ、将来の為に本人の意思とは関係なく塾通いをさせられ、学校では教師が怒ったら体罰だといい、その事から親に気を使い、悪い事をした生徒を怒らない教師、不祥事は隠し自分の立場を考えるだけの大人達。情報化社会故に、周りがそうだからいいのだと感じてしまっている大人がいるからこそ、ずれが生じ始めているようにも感じられます。人の心を敬える精神、生きていくうえでの協調性、善悪の区別はテレビやネットでは養えない大切な日本の文化であり、親から子へしっかり受け継がれていかなければならないものです。

我々は日本人として継承されるべき「大切な何か」をどこかに忘れてきているように思える今だからこそ「大切な何か」を我々はしっかり見出し、青年会議所で行なう青少年健全育成事業として、継続して行なっていかなければならないのです。大人や親の目線で物事を考えることも大切ですが、子どもの目線でたまには物事を考えてみると、そこから子どもたちの心の叫び声が聞こえてくるかもしれません。子どもたちの心のそこから生まれる純粋な笑顔、それが絶えないまちを目指し運動を行なっていかなければならない時代なのです。

地域を引っ張る人間力 (個々の勇気から得る大切な力)

まちづくり・青少年・産業経済の発展を主に事業を行なう我々は、いかなる時でも、リーダーシップを取り、率先して行動する人間を育成しなければいけません。天性でリーダーシップのある人はいつでも取れますが、そうではない人は機会が無い限り中々身につけることが出来ない、それがリーダーシップです。実践と経験を積み上げることで人は変わり、リーダーシップに自信の無い人でも、率先してリーダーシップを取れる人間になることでしょう。しかしながら、普段の生活の中では中々実践の機会が無く、勉強をすることが出来ないのが現実です。その中で我々青年会議所では、1年を通じ様々な事業そして役職を経験することで、リーダーシップを自然と学ぶことができる組織なのです。但し、組織で機会を作っても、「**勇気**」が無くその機会を望まない人は、実践でリーダーシップを勉強する事が出来ません。「**勇気**」を持ち、何事にも前向きに挑み、そこから学んだ経験を会社や地域で活かせる様になれば、明るい豊かな社会に近づけるかと思えます。個々の固い殻を破り、**人間力**を向上させることにより、様々に変化できる機会を持っている我々は素晴らしい環境で運動を行なっており、大切な機会を一つ一つ大切に活かすことで、自然と地域へ足が向き、地域を愛するがゆえに地域へ根ざしたリーダーシップを養っていくのです。

地域に眠るダイヤの原石 (私達の原点、それが人の力)

我々青年会議所は、会員拡大運動を毎年行なわなければなりません。それは、20歳～40歳までしか青年会議所にいられない事と、会員自らの会費で事業を行ない、組織を運営していかなければならないからです。誘っても、すぐに入ってくれる人は現実的にいません。ですが、青年会議所自体の魅力、人との繋がり、色々なものが重なりそれが伝わったときに入会に結びついているのです。その重なりをもっともっと作る為に、2010年度は(社)調布青年会議所メンバー全員で拡大を行なっていく事を宣言致します。

未来ある人の為に組織を存続させることが大切であり、その事により我々の運動を地域に継承させていく事ができるのです。50周年そして100周年を迎える為に、私たち一人一人の努力で、一人でも多くの人に関わりをもって頂くきっかけを共に作っていきましょう。

おわりに

2010年度は40周年という節目の年でもあり、わんぱく相撲東京都大会の開催、そして、公益法人制度改革の実務に入る年でもあります。子どもたちが全国大会出場を夢見て、真剣に挑んで来るわんぱく相撲東京都大会に必要な「おもてなしの心」、そして40周年記念式典でも、全ての参加者の皆様に「おもてなしと感謝の心」をメンバーと共に養い、共に苦労し、成功させるという鉄の意志と結束で臨んでいきたいと思えます。

最後になりますが、人は、人によって磨かれます。小さい箱の中だけでは決まっただけの人にしか磨かれませんが、可能性のある大きな箱に足を踏み入れ、多くの人に出会うことにより、人はもっと大きく磨かれます。ある人は、仲間という力で磨かれ、ある人は事業で磨かれ、ある人は経験で磨かれます。その磨かれた財産は、自らが経験しなければ得られない貴重な財産であり、一步目を「勇気」をもって進むことで、素晴らしい財産と経験が手に入ります。青年会議所を楽しむだけでなく、自分自身の修練の場として共に2010年度、人生の中に必ずある「必要な冒険」を大いに描き、光り輝かせ、未来の自分を、そして我々のふるさとを明日に向けて共に切り拓いていきましょう。

事業計画

I. 事業

1. 地域社会等の文化の向上と住みよいまちづくりに関する事業（定款第5条第1項第1号事業）

- (1) 事業名称 地域まちづくりに関する事業の開催
開催期間 2010年4月（予定）
開催場所 調布市文化会館たづくり8階映像シアター（予定）
対象者 調布市役所、調布市商工会、調布市中心市街地関連9商店会、調布駅周辺企業（社）調布青年会議所メンバー・特別会員・賛助会員
事業内容 調布のまちに興味を持ち、調布のまちを愛するメンバーを育成し、より多くのメンバーが調布のまちを積極的に変化させる運動に参画して頂く事業の開催。
- (2) 事業名称 公開討論会の開催
開催期間 2010年6月（予定）
開催場所 未定
対象者 正会員、特別会員、賛助会員、一般、オブザーバー
事業内容 調布市長選挙に向けての公開討論会の開催
- (3) 事業名称 地域防災に関する事業の開催
開催期間 2010年8月（予定）
開催場所 未定
対象者 正会員、特別会員、賛助会員、一般、オブザーバー
事業内容 災害に強いまち・意識向上の実現に向けた事業の開催
- (4) 事業名称 市民討議会の実施
開催期間 2010年11月
開催場所 調布市文化会館たづくり12階大会議室
対象者 調布市民、調布市協働推進課
事業内容 市民に対し、自らが市政に参加しなければならないという自覚と責任を感じて頂くと同時に、市民の声なき声を行政に届ける事業の実施。
- (5) 事業名称 福祉まつりへの参画
開催期間 2010年12月5日（日）（予定）
開催場所 調布市役所 前庭（予定）

対象者 正会員、特別会員、賛助会員、一般、オブザーバー
事業内容 調布市社会福祉協議会の主催する事業。参画することにより地域の他団体との交流と福祉の向上の一助となることを目的とする。

(6) 事業名称 「あすの調布」の発行
開催期間 1・3・6・9・12月(計5回発行)
対象者 正会員、特別会員、賛助会員
事業内容 40周年を迎え皆が共通認識を保てる様に、「年始のご挨拶」「事業内容の予定・報告」「出向メンバーの状況」そして「委員会組織を超えたメンバー間のネットワークが構築できる内容」等を盛り込み発信を行う。私達が行う公益性の高い事業を紹介することで、「まちに対する関心」を高めていきたい。

(7) 事業名称 ホームページの運営
開催期間 2010年度通年
対象者 正会員、特別会員・賛助会員・一般
事業内容 まちづくりを行う公益法人として、私達が行う事業の一つ一つが「まちづくり」「ひとづくり」の糧となることを願い、私達の動きを外部へ広く発信するツールの一つとして運営を行う。

(8) 事業名称 わがまち調布に関する調査・研究・発信
開催期間 2010年1月～12月
開催場所 調布市市民プラザあくろす他
対象者 調布市役所、調布市商工会、調布市中心市街地関連9商店会、調布駅周辺企業(社)調布青年会議所メンバー・特別会員・賛助会員
事業内容 調布のまちづくりにおいて、最大かつ最重要な課題を見付け、もっと住みやすい、住み続けたいまち調布とするためのサジェスションを示す事業の開催。

2. 産業経済に関する調査・研究及び振興に資する事業(定款第5条第1項第2号事業)

(1) 事業名称 新春地域懇談会の開催
開催期間 2010年1月19日(火)
開催場所 グリーンホール小ホール
対象者 正会員、特別会員、賛助会員、一般、オブザーバー
事業内容 今年度のスタートにあたり、日頃より(社)調布青年会議所の運動に対してご理解、ご協力を頂いている地域諸団体、行政関係者並びに市民の方々に2010年度(社)調布青年会議所の基本方針を披露し、今年度も引き続きご

理解、ご協力を頂けるようにメンバー一丸となって開催。

- (2) 事業名称 納涼懇談会の開催
開催期間 2010年7月(予定)
開催場所 未定
対象者 正会員、特別会員、賛助会員、一般、オブザーバー
事業内容 2010年度社団法人調布青年会議所並びに同シニアクラブ合同「納涼例会」
- (3) 事業名称 経済人会議の実施
開催期間 2010年9月(予定)
開催場所 国立大学法人 電気通信大学(リサーチ)(予定)
対象者 正会員、特別会員・賛助会員・一般・オブザーバー
事業内容 調布市商工会青年部と合同にて地域産業経済の活性化に繋がることを目的とした事業の開催。
- (4) 事業名称 周年記念式典の実施
開催期間 2010年10月14日(予定)
開催場所 未定
対象者 正会員、特別会員・賛助会員・一般・オブザーバー
事業内容 40周年という節目の年を、記念式典という形でメンバー一丸となっておもてなしの心を持って行うことを目的とする。

3.地域社会における青少年健全育成等の社会奉仕事業(定款第5条第1項第3号事業)

- (1) 事業名称 わんぱく相撲調布場所の実施
開催期間 2010年5月(予定)
開催場所 未定
対象者 正会員、特別会員、賛助会員、一般、オブザーバー
事業内容 日本の国技である相撲をとおしての青少年健全育成事業。6月に行われる、わんぱく相撲東京都大会の予選(競技者・小学生1年生~6年生の男女)
- (2) 事業名称 わんぱく相撲東京都大会の実施
開催期間 2010年6月(予定)
開催場所 未定
対象者 正会員、特別会員、賛助会員、一般、オブザーバー
事業内容 日本の国技である相撲をとおしての青少年健全育成事業。わんぱく相撲全国

大会の予選（競技者・小学生 1 年生～6 年生の男女）

- (3) 事業名称 青少年健全育成事業の開催
開催期間 2010年11月（予定）
開催場所 未定
対象者 正会員、特別会員、賛助会員、一般、オブザーバー
事業内容 就学前の児童を対象に事業を実施し、事業をとおして親子の愛情と絆を再確認するとともに、子育てに対する不安と負担の軽減の一助となることを目的とする。
- (4) 事業名称 他団体事業への参画・協力
開催期間 未定
開催場所 未定
対象者 未定
事業内容 他団体等とともに、子どもたちと大人が共に様々な事に関心と責任を感じて頂けるような事業を行う。

4. 指導力及び運営能力の研究と実践を目的とする事業（定款第5条第1項第4号事業）

- (1) 事業名称 個々のリーダーシップ向上に関する事業の開催
開催期間 2010年3月（予定）
開催場所 未定
対象者 正会員、特別会員、賛助会員、一般、オブザーバー
事業内容 リーダーシップを向上させる上で、まず自分自身が『自分とは』を見つめ直し、改めて自分と向きあうこと、即ち人間力を向上させることがその第一歩となる。仕事だけでなく、地域へ貢献しようという思いへも繋がる人間力を向上させる事業の開催。
- (2) 事業名称 地域経済人としてのリーダーシップ向上に関する事業の開催
開催期間 2010年10月（予定）
開催場所 未定
対象者 正会員、特別会員、賛助会員、一般、オブザーバー
事業内容 地域経済人としてのリーダーシップとは何か？を考え、実際に行動するまでの、考え方やスキルの習慣を目指す事業の開催。

- (3) 事業名称 卒業式及び納会の開催
 開催期間 2010年12月(予定)
 開催場所 未定
 対象者 正会員、特別会員、賛助会員、一般、オブザーバー
 事業内容 2010年度の卒業式・納会を開催し、2010年度をしめくくる事業の開催
- (4) 事業名称 会議進行能力向上に関する調査・研究・発信
 開催期間 2010年1月～12月
 開催場所 たづくり8階映像シアター(予定)
 対象者 正会員、特別会員、賛助会員、一般、オブザーバー
 事業内容 参加者全員の会議進行能力の向上を図る事業の開催。
- (5) 事業名称 新入会員向け意識向上に関する事業
 開催期間 2010年1月～12月(予定)
 開催場所 未定
 対象者 正会員、特別会員、賛助会員、一般、オブザーバー
 事業内容 会員研修プログラム事業の開催

5. 前号に掲げるもののほか本会議所の目的を達成するために必要な事業(定款第5条第1項第5号事業)

- (1) 事業名称 公益法人制度改革の対応に関する調査・研究
 開催期間 未定
 開催場所 未定
 対象者 正会員、特別会員、賛助会員
 事業内容 公益法人化改革に関する調査研究を昨年に引き続き行い、(社)調布青年会議所がとるべき方向性を導き発信する。

II. その他

総会の運営

- (1) 開催期間 2010年2. 9. 12月
 開催場所 市民センター「あくろす」、文化会館「たづくり」などを予定
 対象者 正会員、特別会員、賛助会員、オブザーバー、一般

理事会運営補佐

役員抱負

理事長 渡邊弘樹

新年明けましておめでとうございます。2010年を迎え新たな気持ちを抱きながら（社）調布青年会議所の理事長として恥じぬよう邁進していく所存です。そして、本年度は1970年の設立から40年を迎える大切な年になります。メンバーと「共に笑い」、「共に汗をかき」、「共に涙し」、「共に語りながら」事業を作り上げる大切さを1年間発信し、40周年記念式典で形にしていきたいと思っております。「個々の想い」だけで作る事業ではなく「個々の想い」から「みんなの想い」にする大切さ。調布から東京へ、そして日本中へ波及させるといふ、熱い気持ちで1つ1つの事業に、魂を込めて取組む大切さ。そこに40年という先輩達の継承されるべき想いが詰まっているはず。最後に、1年間「勇気」を出し、何事にも取組んでください。忙しい、面倒くさい、興味が無いでは無く、「勇気」を出して取組むことにより得る知識や経験は、大切な人生の糧になるはず。私も「勇気」を出し、様々な事に取組んでいきます。共に1年間挑みましょう。1年間よろしく願いいたします。

副理事長 原島秀一

新年明けましておめでとうございます。2010年度、私が担当する委員会は、創立40周年を記念して「わんぱく相撲東京都大会」と「周年記念式典」を行います。両事業とも「事業の本質」を大事に、委員会単独ではなくメンバー全員で「気持ちを一つ」にして行っていくことが大切であると考えます。40周年を迎えるに当たり、私たちと関わりのある全ての方々に対して感謝の気持ちを持つことは勿論のこと、過去の歴史を丁寧に紐解いていく過程を通して、『先輩方のその年その年での「想い」、私たちの現在の立ち位置、そして将来への方向性』を再確認することを、メンバー全員で共有できるようにしていきたいと思っております。2010年度、私は、40周年以降の（社）調布青年会議所のために、組織としての一年一年の「価値ある積み重ね」と「メンバー相互の信頼関係」を大事にし、姿形にとらわれることなく、失敗を恐れずに熱く情熱をもって取り組んでいきたい。最後に、沢山の出会いと巡り合わせに感謝し、この2010年度も、皆とともに『熱く』『楽しみながら』邁進してゆきたいと思っております。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

副理事長 松永和磨

あけまして、おめでとうございます。近年、エリートコースを歩ませて頂いております、和磨です。皆様も、チャンスがあれば、是非とも理事にトライして見て下さい。2010年度、我々（社）調布青年会議所は、祭りYEARを迎えます。皆で一丸となって、弘樹理事長が、最強の虎にな

るようバックアップし、調布を盛り上げ、全国にアピールしていきましょう！一年間宜しくお願い致します。

副理事長 小川陽一

新年あけましておめでとうございます。2010年度副理事長を仰せつかりました。2006年入会で経験不足な面もありまだまだこのような大役は早いとは思いますが、40周年という節目の年に渡邊理事長の下、副理事長をやらせて頂く事を感謝し責務をまっとうしたいと思っております。担当であります指導力に 関しましては、人間力の向上とリーダーシップ開発、そして青少年ではわんぱく相撲東京都大会に繋がる調布場所を盛り上げ40周年記念事業、式典へと、今年 1年間諸先輩方のご指導ご鞭撻をおかりしながら頑張っていきたいと思っております、どうぞ1年間よろしくお願い申し上げます。

専務理事 芝村 麻

こんにちは。専務理事を謹んで受諾させて頂きました芝村麻です。私にとっては大変大きな役割のお話を頂戴したことに、正直戸惑いました。大変大きな洋服を与えられたようなもののように感じました。渡邊理事長の熱い思いに対して感動し、勇気を持つことの大切さを感じ取ったことと、家族からの「機会はありがたく頂戴するべきだ」との言葉で、プカプカな服を背伸びをしても着てみようと思いました。しかし、背伸びをしても有り余ってしまっていますが、その余った裾をつめることなく、皆様のお力を頂戴してちょっとずつ大きくなって一年後にはその洋服に合う私になるように努力、精進をいたします。40周年という調布青年会議所にとって大切な今年一年を、勇気を持って一歩を踏み出して、確実に前を向いて進んでいきたいと思っておりますので、ご指導・ご鞭撻何卒よろしくお願いいたします。

財務担当理事 天沼 寛

新年あけましておめでとうございます。本年度、財務担当理事を務めさせて頂きます天沼寛でございます。調布JCが設立して40周年を向えます本年度は、例年の事業の他に、6月のわんぱく相撲東京都大会（主管LOM）、10月には40周年記念事業と、二つの大きな事業が組まれております。したがって、予算規模も大きく、財務を管理・担当するものとして責任の重さを深く感じております。常にスムーズかつ適正な財務状況が保たれるよう正副メンバー、委員会メンバーとうまく関係をはかりながら頑張っていきます。

また、シニアクラブ諸先輩の皆様、賛助会員の皆様には、日ごろより多大なるお力添えに感謝致すとともに、なおいっそうのご指導・ご鞭撻・ご協力を頂けたら幸いに存じます。何卒、本年1年間、よろしくお願い致します。

和☆拡大交流委員会 委員長 堀 善一

新年明けましておめでとうございます。今年度、和☆拡大交流委員会の委員長を務めさせて頂くことになりました 堀善一です。宜しくお願ひ致します。2008年度に入会致しまして、初めての理事ですので、自分自身不安もありますが、委員会内では、コミュニケーションを取り、多くの意見を出し合える場にして行き、より良い仲間づくりをしたいと思っています。また、一年間を通して、諸先輩方にも御指導承りたいと、思っております。40周年という節目の年にふさわしい、会員拡大運動に皆様と共に力を合わせ、1人でも多くの方が（社）調布青年会議所に入会して頂けるよう、一年間全力で努めたいと思います。

和☆拡大交流委員会 副委員長 小笠原長武

2007年度の入会以来4年連続の拡大委員会所属は、今回同時に副委員長を務める事となった渋川副委員長と全く同じ経歴でございます。しかしながら私は過去三年間周囲をうろちょろしていただけた印象がございまして、その「拡大歴」ながら決して拡大委員会のプロフェッショナルというわけではございません。今回理事として副委員長を拝命するにあたり、うろちょろしながら拡大委員会というものを観察をし、培った知識を最大限に生かしながら職責を全うしたいと思っております。今年度、和☆拡大交流委員会は二つの例会を担当いたします。一つは例年拡大委員会が担当する卒業例会、そして初めての担当となる納涼例会です。前者においてはこれまでの知識・経験を礎に、それをブラッシュアップすることによって、後者においては手探りながらもこれまでに無い、新しいことをチャレンジすることによって、両例会を成功させたいと思っております。やる気で元気な堀委員長、そして新入会員のサポートに渋川副委員長とともに全身全霊をかけたいと思っております。山ちゃん、浜ちゃん、よろしくね！

和☆拡大交流委員会 副委員長 渋川 潤

今年度、和☆拡大交流委員会・副委員長を務めさせていただきます、渋川潤です。昨年に続き拡大副委員長をさせて頂く事になりましたが、昨年の良かった部分悪かった部分をよく考え、本年の堀委員長の下、会員拡大（目標人数は堀委員長が出していると思いますので書きませんが）を行っていきたく思います。又、入会されてきた新入会員の皆とは、積極的にコミュニケーションを取りJCの良いところを伝えていけたらと思います。今年がJCラストイヤーとなりますので悔いが残らぬよう、全力で一年間を過ごしたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願ひ致します。

ソラスト委員会 委員長 中嶋保明

子どものころ猫拾ったさあ、まだ匍匐前進しか出来ない子猫だったさ、拾ってあげなきゃ死んでたさ。本年度、委員長にして頂きました。まだ始まったばかりなのに早くも未知の可能性のある大きな箱に足を踏み入れ磨かれている自分がいる実感があります。これから一年、多くの方々に助けられながら磨かれて行くという、拾ってもらえなければ出来なかった貴重な経験をさせていただける事に感謝の気持ちで答えて行く所存です。

ソラスト委員会 副委員長 加藤雄一

1970年。日本万国博覧会は開催され6,400万人も動員。ビートルズは解散。調布では調布青年会議所が誕生した。自分も生まれた。団塊ジュニアと呼ばれるこの世代、小学校も1クラス50人。先生は絶対に逆らえない存在だった。昨年、わんぱく相撲を担当した。そこで小さなドラマを見つけた。選手は小学1年生。初参加で緊張している様子。父兄も含め700人はくだらない人の多さに驚きと緊張は隠せないと思う。予選は1年生から。体格の違う相手と対戦し、彼はあっさり負けてしまった。照れ笑いを浮かべながら土俵を降りた彼に、父親は鬼の形相で彼を叱った。勝負に負けたことでなく、悔しさを持たず土俵を降りたことだった。その傍らで母親が彼をなだめていた。親子の絆を垣間見て自分もしっかりしよう、思うと同時に、JCだからできる「わんぱく相撲」だと感じた。同い年の団塊ジュニア副委員長をしっかり援護したいと思います。

あなたと私のまち委員会 委員長 小峯充史

明けましておめでとうございます。私は群馬県の出身ですが、出身地同様このまち調布が大好きです。北には深大寺やかに山。南には多摩川、多摩丘陵、その向こうには富士山。真ん中には甲州街道のケヤキ並木。そんな多くの自然に囲まれ、歴史も感じられる素朴なまちなのに、新宿からたった15分。調布の良さを挙げれば枚挙に暇がありません。昔から住んでいる方も、住み移ってきた方も、きっとこのまちが好きに違いありません。そんな方々がさらに愛着を抱き、住み続けたいと思えるようなまちの創造に委員長として携われることは、素直に喜びを感じます。今の調布のまちづくりでは何が一番課題なのか。その解決策はどのようなものなのか。委員会メンバーの英知と勇気と情熱を最大限引出し、このまち調布に何らかの足跡を残せるよう、一年間勇往邁進していく所存です。現役メンバー、シニアクラブの皆様には、ご指導ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

あなたと私のまち委員会 副委員長 安藤貴弘

新年明けましておめでとうございます。『あなたと私のまち委員会』副委員長をさせていただきます安藤です。私は、昨年度も『続・まちづくり委員会』メンバーでしたので、2年連続で「まちづくり委員会」になります。昨年実施いたしました「市民討議会」も含めまして、まちづくり事業は継続していくことが大切だと考えております。09年度の経験を活かし、わがまち調布の産業経済発展のため、青年会議所でしかできないような活動をし次年度以降へも繋げていきたいと思っています。08年の原島委員長、09年の荒井委員長のとてもアツい「思い」を受け継ぎ、今年度も更にアツい委員会にしたいと思います。また、初理事ということで、大変身が引き締まる思いです。小峯委員長はじめとする委員会メンバーと力を合わせて、40周年という大事な今年、「明るい豊かな社会」に向けて全力で駆け抜けたいと思いますので、皆様のご協力含めまして、宜しくお願いいたします。

総務ネットワーク委員会 委員長 小山晃一郎

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。2010年度「総務ネットワーク委員会」では、委員会メンバーと力を合わせ1つ1つの委員会、事業を行っていききたいと思っております。(社)調布青年会議所は設立40周年を迎え、多くのマンパワーが必要とされます。現役メンバーが一丸となるのはもちろんのこと、様々な方々のお力添えも頂かなければなりません。その様な中、内向きな仕事の多い総務ではありますが、メンバーやシニアクラブの先輩方に共通認識を持って頂くべく、外部発信ツールを積極的に活用して行きたいと考えております。委員会、役職、LOM、各種団体、一般、その様な垣根を越えた人と人との交わりができれば、さらに組織としての力が増して行く。そんな思いから委員会名に「ネットワーク」という言葉を使わせていただきました。何かをきっかけに皆様が繋がっていけば・・・その一助となるべく1年間頑張りたいと思っております。

総務ネットワーク委員会 副委員長 和田勝幸

新年あけましておめでとうございます。2010年度、総務ネットワーク委員会副委員長を務めさせていただきます和田です。前年度に引き続き、異例(!?)の総務系副委員長ではありますが、前年度、裏方の総務で学んだことをさらに洗練させつつ、JC運動に邁進してまいります。そして、本年度は40周年という区切りの年度でもあり、イベント等多数予定していますので、広報ツールであるWEBサイトやあすの調布を活用し40周年の調布青年会議所を盛り上げていきたいと思っております。どうぞ一年間よろしくお願い致します。

人間力向上委員会 委員長 高橋裕二

私がJCに入会した動機には2つありました。1つは経済人として自立するため、憧れであった社長もしくは後継者と呼ばれる人と肩を並べて、切磋琢磨していくこと。2つ目が自分以外の他人とソウルメイトになること（もちろん家族も含む）です。3年目を迎える今年、私は指導力系の委員長を仰せつかります。改めて、入会した動機を振り返り、自問自答してみると、2年前と比べて明らかに情熱が下がっている自分に気づきました。現状維持は停滞していることと、よく耳にしますが、一つ目の自立する、にしても生活レベルもさほど変わらず、年間読む本の数や資料を作る準備の仕方や発想方法など、明らかに変わったと言い切れるものはありません。過去に情熱を持っていた時代を振り返ると、仲間の喜ぶ顔が見たかったり、自分が震えるほど感動したり、我慢して続けると必ず成果が出ると確信していたときだと分かります。仕事はもちろんですがJCもその価値は十分あります。要するに後は私自身が、他に選択肢がないよう「委員長をやる」、と決めることなんですよ。今年一年は自分との戦いになります。リーダーとして方向性を示しながら、組織の力を束ねるという責務ははたしつつ、仲間とソウルメイトになってやるぞ。

人間力向上委員会 副委員長 井上耕志

みなさま明けましておめでとうございます。2010年度人間力向上委員会の副委員長を務めることになりました井上耕志です。昨年の青少年育成委員会副委員長から引き続き理事の方を務めることとなりました。昨年までは青少年を中心とした対外事業を軸として汗をかかせていただきましたが、今年は組織の中での自己啓発を、みなさんと共に行っていくために努力してまいります。本年は、調布青年会議所40周年の年であり、わんぱく相撲都大会の開催も決定しています。来春からはNHK朝の連続ドラマでも、ゲゲゲの女房が放映されることが予定されており、まちづくりでは京王線の連続立体交差事業が着実に進捗しています。素晴らしい可能性を秘めたこの調布を全国に発信できるように、微力ではありますが全力で活動していきたいと思っておりますので、どうぞ一年間よろしくお願いいたします。

輝け！青少年委員会 委員長 鮎川有祐

2010年度「輝け！青少年委員会」委員長を務めさせていただくことになりました。初めての理事、委員長ということで、不安もありますが、副委員長をはじめ、心強いメンバーに恵まれましたので、一年間自分自身も楽しみながら過ごしていきたいと考えております。委員会の目的は青少年の健全育成です。子どもたちを取り巻く環境は我々が育った頃と比べても大きく変わってきております。学校、地域、そして我々のような団体が果たす役割も大きくなってきております。しかし、子どもの健全育成にはやはり、親、家庭が最も大きな役割を果たさなければなりません。

一年間の事業を通じて、親子の絆、親子の愛情を再確認できるようなきっかけ作りができればと考えております。委員会名にありますように、子どもたち、青少年が輝けるまちを目指す中で、メンバー自身も輝けるような委員会にしたいと考えております。一年間どうぞよろしく願いいたします。

輝け！青少年委員会 副委員長 大前勝巳

今年度は、同じ理事でも昨年とは異なる副委員長という立場で、調布JCの運動に関わることになりました。そして、JC最後の年に、入会して9年で初めての青少年系の委員会を担当することになり、これで調布JCの全ての委員会に所属したことになります。他の委員会同様、当委員会にも昨年度の新入会員が多数所属しています。鮎川委員長をしっかりサポートしながら、新入会員のフォローも忘れずに、委員会メンバー同士、メンバーと組織、そしてメンバーと事業、それぞれの絆をより太くし、みなさんにとって思い出に残る充実した1年にしていきたいと考えております。よろしく願いいたします。

40周年特別委員会 委員長 三ツ木秀章

1970年に調布青年会議所が設立され、40年目の節目を迎えます。今日まで（社）調布青年会議所は、多くの先輩方の想いの積重ねと、我々の活動に対してご理解とご協力を頂いている方々によって支えられ、40年目を迎えることができています。私は、40周年を迎える現役メンバーの一人として、調布JCで本日まで引き継がれ積み重ねてきた想いに、40年目のこの年、5年後・10年後に向け更なる我々の想いの積み上げることにより一役を担うことが出来ればと願っています。40周年特別委員会は、40周年の記念式典とわんぱく相撲東京都大会に向け、（社）調布青年会議所のメンバー一人ひとりの力を集約させていくことこそ、最も担うべき役割であると考えています。現役メンバーの一人ひとりの尊い輝きを引き出し、40周年を迎える社団法人調布青年会議所が、地域や他の各地青年会議所に対して存在感を示す年となるために全力を尽くします。

監事 新國政和

40年という節目の大切な年度に監事という大役を努めさせて頂くにあたり、身がしき締まると同時に大変光栄に思います。こんな時こそ、想いを一つ一つ積み重ねていくことによって、まちづくり、ひとつづくりへの行動につなげていくことが大切です。JCは未来を担うこと決してあきらめてはいけません。決して若き青年としての輝きを忘れてはいけません。言葉を引用するとすれば、「人間は行動して失敗してしまったことを悔やむよりも、何も行動しなかったことを悔や

む」と言います。まさに今の私たちに出来ることは青年として、JCこそその発想と英知、情熱を持ち合わせ、将来にむけて勇気を持って行動することだと思っております。まさに行動に裏付けられた自分こそが明日へ原動力となり、大切な未来を生み出されていくカタチを創ります。そんな想いを胸に一年間大切に取組んでまいります。来年度一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

監事 中村陽一

新年明けましておめでとうございます。本年度、監事という大役を仰せつかりました。役職上、調布青年会議所を客観的に見て理事会、事業等がJCの目的に則して適性に行われているかを判断しなくてははいけません。自分自身がその職を理解し咀嚼出来るまで自問自答をしていてはメンバーに訴えることは出来ないし、また失礼だと考えます。監事として自分に何が出来るのか、何を求められているのかは、まだ分かりません。しかし確かなことは、今年度1年で卒業、今までお世話になった調布青年会議所に直接恩返し出来るのもあとわずか、監事としてまた今年度卒業予定者として自分らしく、自分の言葉・行動で『想い』『感謝』『本気』、JCで得たものすべてを伝えたいという想いです。残された時間めーいっぱい、泣いて、笑って、ガチンコで楽しみ渡辺弘樹理事長そしてメンバーをサポート出来る様務める所存です。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

直前理事長 梶原良介

いよいよ本年度は、40周年という大きな大きな節目の年を迎える事となりました。この時に立ち会うことができる事を大変光栄に思うと同時に、昨年度、第39代理事を務めさせていただいた責任を胸に、一年間皆と更なる積み上げて参りたいと決意を新たにしております。旧年中は、終始一貫「本気の行動力」と「感動」を追求し、内部充実とビジョンの明確化を旗印に、メンバーのモチベーションアップと情熱を育ててまいりました。この成果を「周年式典」と「わんぱく相撲東京都大会」をはじめとする今年を彩るすべての事業にぶつけていきましょう！スローガンにもある通り、LOMが新たな一歩を踏み出すためにはすべてのメンバーが本年度の事業に本気で取り組むことにより新たな気付きや学びを得てこそ実現できると考えております。渡辺理事長にバトンを渡した者（直前理事長）として、メンバーに勇気と元気を与えてゆくことに自身の力を費やしてまいります。

事業計画

スローガン

感謝と共に新たな一歩
～個々の『勇気』から得る確かな変化の実感～

基本方針

- 個々の人間力向上と、地域へ目を向け、地域から必要とされるリーダーの育成
- 先人から受継がれた思いやりの気持ちと、日本人としての誇りを持てる子どもたちの育成
- 調布のまちに興味をもち、調布を愛するメンバーの育成
- 地域を愛する若者で手を組み、地域産業経済発展につながる更なる発想の展開
- 40年の積み重なった想いを根本から理解し、10年後につながる伝統の伝達

全体事業

- わんぱく相撲調布場所
- わんぱく相撲東京都大会
- 設立40周年式典

和☆拡大交流委員会

- 会員拡大（通年）
- 納涼懇談会の開催（7月）
- 卒業式及び納会の開催（12月第二例会）

人間力向上委員会

- 個々のリーダーシップ向上に関する事業の開催（3月）
- 地域経済人としてのリーダーシップ向上に関する事業の開催（10月）
- 会議進行能力向上に関する調査・研究・発信（通年）

輝け！青少年委員会

- わんぱく相撲調布場所の実施（5月）
- 青少年健全育成事業の開催（11月）
- 福祉まつりへの参画

総務ネットワーク委員会

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 総会の運営 2、9、12月 ○ 「あすの調布 1,3,6,9,12月の発行 ○ ホームページの運営（通年） ○ 経済人会議の実施（9月） | <p>〈管理分野〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員名簿の作成 ・ 発送物の管理 ・ 理事会運営補佐 ・ 事務局管理 ・ 褒賞申請補佐 |
|---|---|

あなたと私のまち委員会

- 地域まちづくりに関する事業の開催（4月）
- 市民討議会の実施（11月）
- わがまち調布に関する調査・研究・発信（通年）

ソラスト委員会

- 新春地域懇談会の開催（1月）
- 地域防災に関する事業の開催（8月）
- 新入会員向け意識向上に関する事業（通年）

専務室

- (社)日本青年会議所及びブロックへの褒賞申請の実施
- 他団体事業への参画・協力
- 各種大会・会議参加のとりまとめ調整
- 出向者等の連絡と管理・対応
- 他 LOM・地域関係諸団体との連絡窓口
- 公益法人制度改革に関する調査研究
- 公開討論会の開催（7月4日 調布市長選挙）

40周年特別委員会

- わんぱく相撲東京都大会の実施（6月）
- 周年記念式典の実施（10月）

事業計画日程表

月	日	事業	担当
1	11日 21日~24日	◇東京ブロック賀詞交歓会（立川） ◇京都会議 ★新春地域懇談会（例会）	専務理事 副専務 ソラスト委員会
2		★通常総会（例会）	総務ネットワーク委員会
3		★例会 ◇日本JC総会（東京）	人間力向上委員会 専務理事
4		★例会	あなたと私のまち委員会
5		★わんぱく相撲調布場所	輝け！青少年委員会
6	13日 3日~6日	★わんぱく相撲東京都大会（例会） ◇東京ブロック会員大会（東久留米） ◇ASPAC（シンガポール）	40周年特別委員会 専務理事 専務理事
7	24日~25日	★例会（納涼） ◇サマーコンファレンス（横浜）	和☆拡大交流委員会 副専務
8		★例会	ソラスト委員会
9		★例会（臨時総会） ★例会	総務ネットワーク委員会 総務ネットワーク委員会
10	14日 9/30~10/3 25日	★40周年記念式典（例会） ★例会 ◇全国大会（小田原） ◇さよならブロック（立川）	40周年特別委員会 人間力向上委員会 副専務 専務理事
11	2日~7日	★例会 ★例会 ◇世界大会（大阪）	あなたと私のまち委員会 輝け！青少年育成委員会 専務理事
12	18日	○福祉まつり ★通常総会（例会） ★卒業例会（例会） ◇ありがとう関地区	輝け！青少年育成委員会 総務ネットワーク委員会 和☆拡大交流委員会 専務理事

★印は（社）調布青年会議所の例会（16回）

○印は（社）調布青年会議所の参加・参画事業

●印は（社）調布青年会議所の主催・実施事業

◇印は（社）日本青年会議所（東京ブロックを含む）の事業

平成22年度 社団法人 調布青年会議所 補正予算（案）

自平成22年1月1日～至平成22年12月31日

（単位：円）

I. 収入の部				
勘定科目 大 中 小	補正予算額	予算額	増 減	備 考
1. 会費収入	10,338,200	10,653,000	-314,800	正会員会費収入 120,000×67人 8,040,000 新入会員会費収入 90,000×15人 1,350,000 賛助会員会費収入 10,000×70人 700,000 日本J.C出向者負担金 20,000×8人 160,000 ブロック出向者負担金 3,150×28人 88,200
1. 会費収入	10,338,200	10,653,000	-314,800	
2. 入会金収入	375,000	375,000	0	新入会員入会金収入 25,000×15人 375,000
1. 入会金収入	375,000	375,000	0	
1. 入会金収入	375,000	375,000	0	
3. 事業収入	4,250,000	3,750,000	500,000	わんぱく相撲（協賛） 400,000 新春懇談会（正会員登録料） 0 新春懇談会（来訪JC）5,000×60名 300,000 新春懇談会（シニア負担金） 150,000 納涼懇談会（正会員登録料） 0 納涼懇談会（正会員除く登録料） 0 納涼懇談会（シニア負担金） 100,000 卒業例会（正会員登録料） 0 わんぱく相撲東京都大会（協賛） 500,000 わんぱく相撲東京都大会協賛金（東京JC） 500,000 わんぱく相撲東京都大会協議会収入（10,000×25チーム） 250,000 40周年記念式典協賛金 1,200,000 40周年記念式典（正会員登録料） 0 40周年記念式典（来訪JC）6,000×100名 600,000 40周年記念式典（シニア登録料）5,000×50名 250,000 40周年記念式典（正会員除く登録料） 0
1. 事業収入	4,250,000	3,750,000	500,000	
1. 事業収入	4,250,000	3,750,000	500,000	
4. 預金収入	1,000	1,000	0	
1. 預金収入	1,000	1,000	0	
1. 預金収入	1,000	1,000	0	
5. 雑収入	690,000	680,000	10,000	シニアクラブ通信負担金 エフネット 100,000 シニアクラブ郵送負担金 発送物 140,000 シニアクラブ名簿負担金 名簿作成費 80,000 その他（祝金、自販機等） 170,000 納会例会 シニアクラブ登録料 200,000
1. 雑収入	690,000	680,000	10,000	
1. 雑収入	690,000	680,000	10,000	
6. 積立金取崩収入	2,100,000	2,100,000	0	周年事業積立金
1. 周年事業積立金取崩収入	2,100,000	2,100,000	0	
1. 周年事業積立金取崩収入	2,100,000	2,100,000	0	
当期収入合計	17,754,200	17,559,000	195,200	
前年度繰越収入合計	2,834,257	0	0	前年度繰越金
収入合計	20,588,457	17,559,000	3,029,457	

II. 支出の部				
勘定科目 大 中 小	補正予算額	予算額	増 減	備 考
1. 事業費	13,440,000	11,770,000	1,670,000	
1. 給料手当	0	0	0	
1. 給料手当	0	0	0	
2. 文化まわりの事業費	1,500,000	1,400,000	100,000	
1. 諸謝金	110,000	110,000	0	
2. 消耗品費	700,000	700,000	0	
3. 通信運搬費	140,000	140,000	0	
4. 印刷製本費	370,000	350,000	20,000	
5. 旅費交通費	0	0	0	
6. 賃借料	180,000	100,000	80,000	
3. 産業経済事業費	6,300,000	5,300,000	1,000,000	
1. 諸謝金	1,550,000	1,550,000	0	
2. 消耗品費	3,530,000	2,530,000	1,000,000	
3. 通信運搬費	37,000	37,000	0	
4. 印刷製本費	640,000	640,000	0	
5. 旅費交通費	0	0	0	
6. 賃借料	543,000	543,000	0	
4. 青少年健全育成事業費	4,850,000	4,300,000	550,000	
1. 諸謝金	290,000	290,000	0	
2. 消耗品費	3,770,000	3,220,000	550,000	
3. 通信運搬費	70,000	70,000	0	
4. 印刷製本費	630,000	630,000	0	
5. 旅費交通費	0	0	0	
6. 賃借料	90,000	90,000	0	
5. 指遣力等研究実践事業費	790,000	770,000	20,000	
1. 諸謝金	150,000	150,000	0	
2. 消耗品費	150,000	140,000	10,000	
3. 通信運搬費	0	0	0	
4. 印刷製本費	240,000	240,000	0	
5. 旅費交通費	10,000	10,000	0	
6. 賃借料	240,000	230,000	10,000	
2. 管理費	5,113,500	4,967,200	146,300	2. 総会資料印刷費 70,000 2. 会員名簿作成代 220,000 2. プリンターリース料 150,000 4. パソコン購入代 100,000 5. LOM登録料等 100,000 5. 日本J.C基本金 45,000 5. 日本付加金 8,200×82人 672,400 5. 購読料 3,000×82人 246,000 5. 日本出向負担金 20,000×8人 160,000 5. 関東地区基本金 10,000 5. 関東付加金 500×82人 41,000 5. ブロック基本金 40,000 5. 基本資料・名簿代 3,150×26人 81,900 5. ブロック付加金 3,000×82人 246,000 5. ブロック出向負担金 3,150×28人 88,200 6. JC保険料 13,600
1. 事務費	3,420,500	3,274,200	146,300	
1. 消耗品費	200,000	200,000	0	
2. 印刷製本費	740,000	720,000	20,000	
3. 通信運搬費	500,000	500,000	0	
4. 什器備品費	150,000	50,000	100,000	
5. 負担金支出	1,730,500	1,704,200	26,300	
6. 雑費	100,000	100,000	0	
2. 事務所経費	280,000	280,000	0	4. 事務管理委託費 1. 褒賞委員会費 50,000 1. 卒業記念品費（12名） 126,000 1. その他消耗品費 57,000 2. 納会 780,000 2. 公務費・その他（慶弔等） 300,000 2. 公益法人制度改革調査費 100,000
1. 給料手当	0	0	0	
2. 賃借料	0	0	0	
3. 水道光熱費	180,000	180,000	0	
4. 雑費	100,000	100,000	0	
3. その他の管理費	1,413,000	1,413,000	0	
1. 消耗品費	233,000	233,000	0	
2. 諸費	1,180,000	1,180,000	0	
3. 積立金支出	1,850,000	803,000	1,047,000	
1. 周年事業積立支出	0	0	0	
1. 周年事業積立支出	0	0	0	
2. 事務所移転支出	1,850,000	803,000	1,047,000	
2. 事務所移転支出	1,850,000	803,000	1,047,000	
4. 予備費	184,957	18,800	166,157	
1. 予備費	184,957	18,800	166,157	
1. 予備費	184,957	18,800	166,157	
当期支出合計	20,588,457	17,559,000	3,029,457	
当期収支差額	-2,834,257	0	-2,834,257	
次期繰越収支差額	0	0	0	

平成22年度 社団法人 調布青年会議所
収支予算事業費内訳表

2. 文化まちづくり事業費									
	地域防災に関する事業の開催	福祉まつりへの参画	ホームページの運営	あすの調布の発行	地域まちづくりに関する事業の開催	市民協議会の実施	わがまち調布に関する調査・研究・発信	公開討論会の開催	小計
諸謝金	0	0	0	0	50,000	60,000	0	0	110,000
消耗品費	100,000	20,000	120,000	0	30,000	310,000	20,000	100,000	700,000
通信運搬費	0	0	60,000	0	0	80,000	0	0	140,000
印刷製本費	50,000	0	0	200,000	10,000	80,000	30,000	0	370,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	50,000	0	0	0	10,000	20,000	100,000	0	180,000
合計	200,000	20,000	180,000	200,000	100,000	550,000	150,000	100,000	1,500,000

3. 産業経済事業費					
	周年記念式典の実施	納涼懇談会の開催	新春地域懇談会の開催	経済人会議の実施	小計
諸謝金	1,500,000	0	0	50,000	1,550,000
消耗品費	2,500,000	450,000	550,000	30,000	3,530,000
通信運搬費	0	0	37,000	0	37,000
印刷製本費	500,000	50,000	80,000	10,000	640,000
旅費交通費	0	0	0	0	0
賃借料	500,000	0	33,000	10,000	543,000
合計	5,000,000	500,000	700,000	100,000	6,300,000

4. 青少年健全育成事業費					
	わんぱく相撲東京都大会の実施	わんぱく相撲調布場所の実施	青少年健全育成事業の開催	他団体参画事業	小計
諸謝金	200,000	90,000	0	0	290,000
消耗品費	3,000,000	370,000	200,000	200,000	3,770,000
通信運搬費	50,000	10,000	10,000	0	70,000
印刷製本費	500,000	60,000	70,000	0	630,000
旅費交通費	0	0	0	0	0
賃借料	50,000	20,000	20,000	0	90,000
合計	3,800,000	550,000	300,000	200,000	4,850,000

5. 指導力等研究実践事業費						
	新入会員向け意欲向上に関する事業	卒業式及び納会の開催	会議進行能力向上に関する調査・研究・発信	個人のリーダーシップ向上に関する事業	地域課題人としてのリーダーシップ向上に関する事業	小計
諸謝金	30,000	0	20,000	0	100,000	150,000
消耗品費	10,000	50,000	0	30,000	60,000	150,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	100,000	10,000	30,000	100,000	240,000
旅費交通費	0	0	0	10,000	0	10,000
賃借料	20,000	150,000	0	30,000	40,000	240,000
合計	60,000	300,000	30,000	100,000	300,000	790,000

平成22年度 社団法人 調布青年会議所
委員会別事業費内訳表

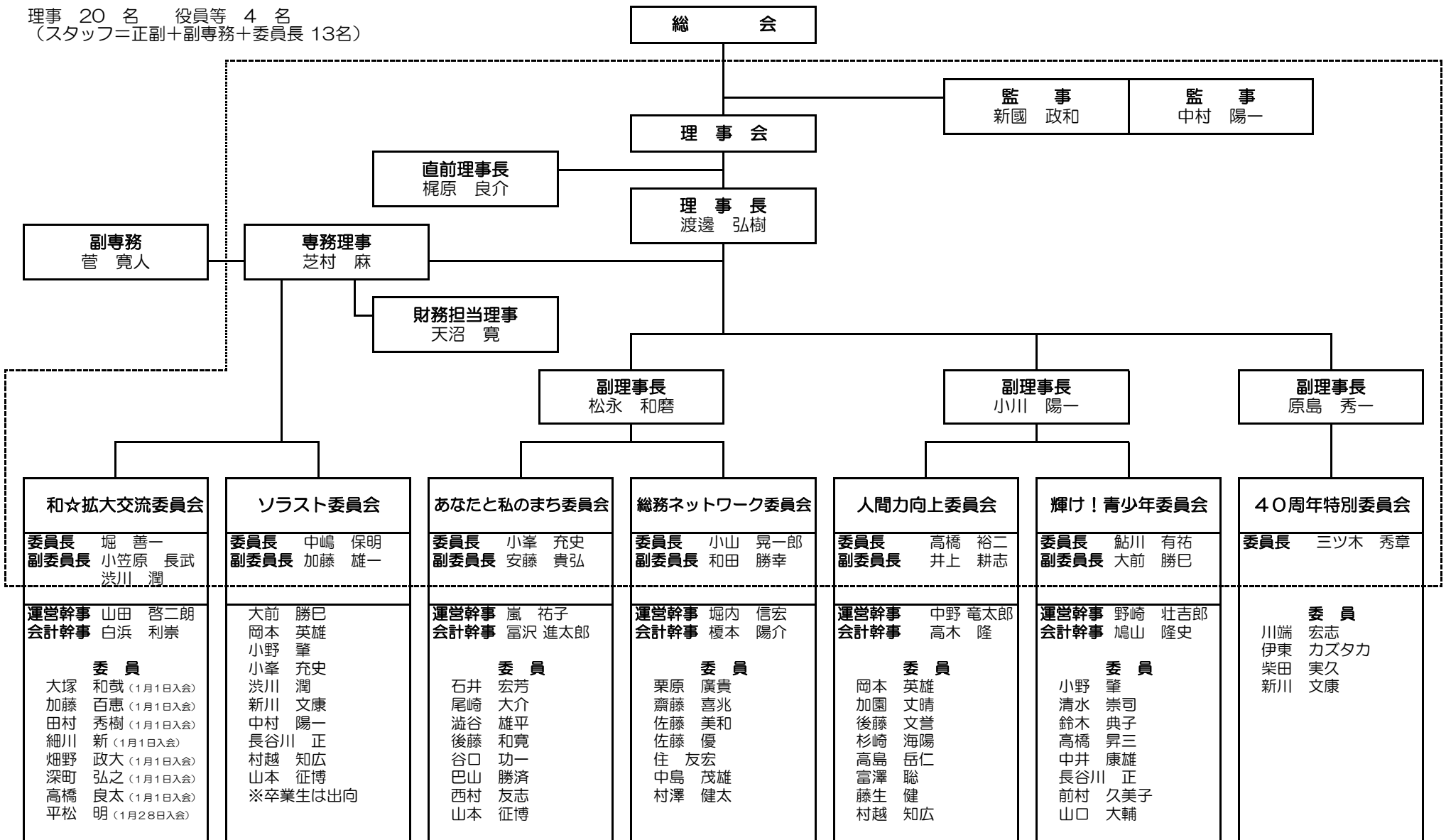
	和☆拡大交流委員会		人間力向上委員会			輝け！青少年委員会		40周年特別委員会		
	納涼懇談会の開催	卒業式及び納会の開催	会議進行能力向上に関する調査・研究・発信	個人のリーダーシップ向上に関する事業	地域課題人としてのリーダーシップ向上に関する事業	わんぱく相撲調布場所の実施	青少年健全育成事業の開催	福祉まつりへの参画	わんぱく相撲東京都大会の実施	周年記念式典の実施
諸謝金	0	0	20,000	0	100,000	90,000	0	0	200,000	1,500,000
消耗品費	450,000	50,000	0	30,000	60,000	370,000	200,000	20,000	3,000,000	2,500,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0	50,000	0
印刷製本費	50,000	100,000	10,000	30,000	100,000	60,000	70,000	0	500,000	500,000
旅費交通費	0	0	0	10,000	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	150,000	0	30,000	40,000	20,000	20,000	0	50,000	500,000
(消耗品費)	0	126,000	0	0	0	0	0	0	0	0
(諸費)	0	780,000	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	500,000	1,206,000	30,000	100,000	300,000	550,000	300,000	20,000	3,800,000	5,000,000

	総務ネットワーク委員会		あなたと私のまち委員会			ソラスト委員会			専務室		
	ホームページの運営	あすの調布の発行	経済人会議の実施	地域まちづくりに関する事業の開催	わがまち調布に関する調査・研究・発信	市民協議会の実施	新春地域懇談会の開催	地域防災に関する事業の開催	新入会員向け意欲向上に関する事業	他団体参画事業及び公開討論会の開催	公益法人制度改革調査費
諸謝金	0	0	50,000	50,000	0	60,000	0	0	30,000	0	0
消耗品費	120,000	0	30,000	30,000	20,000	310,000	550,000	100,000	10,000	300,000	0
通信運搬費	60,000	0	0	0	0	80,000	37,000	0	0	0	0
印刷製本費	0	200,000	10,000	10,000	30,000	80,000	80,000	50,000	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	10,000	10,000	100,000	20,000	33,000	50,000	20,000	0	0
(消耗品費)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(諸費)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000
合計	180,000	200,000	100,000	100,000	150,000	550,000	700,000	200,000	60,000	300,000	100,000

※(消耗品費)と(諸費)は管理費

2010年度(社)調布青年会議所
組織図(案)

理事 20名 役員等 4名
(スタッフ=正副+副専務+委員長 13名)



■2010年度出向者

(社)日本青年会議所 輝く地域創造委員会

委員長 新國政和
 幹事 村越知広
 幹事 前村久美子
 委員 大前勝巳
 委員 小野肇
 委員 梶原良介
 委員 原島秀一
 委員 山本征博
 委員 梶原良介
 委員 小峯充史

(社)日本青年会議所 JC運動発信会議

(社)日本青年会議所関東地区 明日を照らす力育成委員会

(社)日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会

ALL TOKYO 連携グループ
 守る未来・都市環境対策委員会

副会長 梶原良介
 委員長 小峯充史
 委員 加園丈晴
 委員 中村陽一
 委員 原島秀一
 委員 松永和磨
 委員 小川陽一
 委員 加藤雄一
 委員 新川文康

真日本・国民主導社会実践委員会
 結ぶ絆・交流渉外委員会
 東京ブロックビジョン委員会
 心繋ぐ・広報情報委員会

委員 小笠原長城
 事務局員 後藤和寛
 委員 芝村麻

夢を形に・政治行政政策委員会
 事務局
 24LOM 専務連絡会議
 アカデミー研修委員会

副委員長 山本征博
 運営幹事 渋川潤
 委員 嵐祐子
 委員 伊東カズタカ
 委員 榎本陽介
 委員 大塚和哉
 委員 加藤百恵
 委員 柴田実久
 委員 住友宏
 委員 清水崇司
 委員 高橋昇三
 委員 高橋良太
 委員 田村芳樹
 委員 富沢進太郎
 委員 野崎壮吉郎
 委員 長谷川正
 委員 畑野政大
 委員 平松明
 委員 深町弘之
 委員 堀内信宏
 委員 山口大輔
 委員 山田啓二郎

第41回通常総会～総合資料～
2010年2月23日（火）
調布市民プラザあくろす3階 あくろすホール

発 行
2010年度 社団法人 調布青年会議所
理 事 長 渡 辺 弘 樹